

# 北九州市立大学

## 文学部紀要

第88号

放浪の王子の図書館

—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

富田 広 樹 …………… 1

北九州市立大学文学部  
比較文化学科  
2018

JOURNAL  
OF  
THE FACULTY OF HUMANITIES  
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU  
No. 88      March 2018

Los fondos bibliográficos japoneses de la Colección Reiji Nagakawa custodiada  
en la Biblioteca de la Universidad de Sevilla

Hiroki TOMITA ..... 1

The Department of Comparative Culture  
The Faculty of Humanities  
The University of Kitakyushu  
2018

## 放浪の王子の図書館

—セビーリャ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

富田 広樹

El universo (que otros llaman la Biblioteca)

Jorge Luis Borges, “La Biblioteca de Babel”, *Ficciones*

### 要旨

二〇〇〇年に物故した英文学者、永川玲二は長年にわたってスペイン・セビーリャに居住し、膨大な蔵書を構築した。現在この蔵書はセビーリャ大学図書館に所蔵されている。本稿ではこのコレクションに含まれる日本語ならびに日本で刊行された文献について、その目録の有する問題点を指摘するとともに、実用に堪える書誌情報を提供することを目的とする。

### キーワード

永川玲二 蔵書 図書館 セビーリャ大学

### はじめに

二十世紀最大の問題小説、ジェイムズ・ジョイスによる『ユリシーズ』の翻訳刊行という偉業を達成し（丸谷才一、高松雄一との共訳）、シェイクスピア、エリオット、ポオ、エミリー・ブロンテ、シリーターをはじめとする数多くの作家の翻訳者として知られた永川玲二は、二〇〇〇年四月二十二日虚血性心不全により世を去った。享年七十二歳であった。同年五月二十日、法政大学第二学生食堂で催された故人を偲ぶ会<sup>1</sup>での挨拶で丸谷才一は、永川のことをつぎのように回想している。

あんなに魅力があつて、しかもあんなに傍迷惑な人は滅多にみないのぢやないでせうか。心が優しく、筋が通つてゐて、友情に厚くて…… しかも実際的な生活ではだめなんですね。そそつかしいし、無器用だし、世間普通の常識を知らないし、しかも平気で嘘をつく。もうすこし上手についてよと頼みたくなるくらゐ、子供つばい嘘をつく。でも怒る気になれないし、す

<sup>1</sup> 発起人は丸谷才一、中野孝次、橋本恵美子、辻光博の四氏。世話人には山田浩人、安引宏、ダグラス・ラミス、冨所美智子、市川博彬、内田博、佐伯泰英、川成洋、西村正史、大工原彌太郎が名を連ねた。

くなくとも我慢するしかないと思はせる。さういふ人でした<sup>2</sup>。

気鋭の英文学者として出発し、すでにふれたように目覚ましい訳業を残しながら、日本の大学での職を捨てて単身ヨーロッパに渡った後、スペインはセビーリャに居を定め、そこで三十年ちかい月日を過ごした。その間に永川玲二は、国籍や年齢を問わず、出会う人すべてによかれあしかれ、深い印象を残すこととなった<sup>3</sup>。「あんなに魅力があつて、しかもあんなに傍迷惑な人」という丸谷の言葉は、永川の有した強烈な個性を物語るものだろう。

永川の死後、セビーリャの自宅アパートに残された四千ちかい蔵書と資料群は、彼とかかわりのあったセビーリャ大学の図書館に一括して収蔵されることとなった<sup>4</sup>。現在はその蔵書目録作成の作業が完了し<sup>5</sup>、閉架にて学生、教員の利用に供されている。

本稿ではこの永川玲二コレクションに含まれる日本語ならびに日本で刊行された文献について、その目録の有する問題点を指摘するとともに、実用に堪える書誌情報を提供することを目的とする。また、それに先立って、最晩年の永川が最後に教壇に立った北九州大学での足跡を記録するとともに、蔵書という書物の集合体の持つ価値について検討をくわえたい。永川玲二の蔵書が散逸をまぬかれて保存されたという事実を得難い僥倖と考えるがゆえである。

## 1. 永川玲二、最後の授業

永川は一九九九年四月より一年間、北九州大学（当時。二〇〇一年、北九州市立大学に改称）外国語学部国際関係学科の客員教員として九州に身を置いた。当時、同大学には各学科輪番で外国人教員を招聘する制度があった。一九九九年度はその順番が国際関係学科にあっていたのだが、永川については在外研究歴が三十年におよぶことを根拠として外国人教師と同等とみなし、学科主任を務めていた辻光博（北九州市立大学名誉教授）が永川を推してその招聘を実現させた<sup>6</sup>。

同年度の外国語学部第一部（昼間主）シラバスには、永川が担当した科目として「ヨーロッパ地

<sup>2</sup> 丸谷オ一「放浪の王子のやうな生き方」『合本 挨拶はたいへんだ』朝日文庫、二〇一三年、四五〇－四五一頁。

<sup>3</sup> 前者の例は枚挙に暇がない。川成洋、坂東省次編『南スペイン・アンダルシアの風景』（丸善、二〇〇五年）では執筆者の多くが期せずして一様に永川の人物にふれている。後者については、判然と表明されるケースがすくないので把握が難しいが、一例として堀田義衛（とその夫人）の名を挙げるができる。永川と堀田夫妻の対面の様子は、佐伯泰英『惜櫟荘だより』岩波現代文庫、二〇一六年、五三－五八頁で知ることができる。時代小説家として高い人気を誇る佐伯はかつて闘牛写真家として過ごした経歴を持ち、一九七〇年代前半にスペインに滞在している。永川とは一九七三年に出会っている。佐伯は折にふれて永川玲二との交流の思い出と彼から受けた影響について語っている。

<sup>4</sup> EFE. “La Universidad de Sevilla recibe el legado del profesor japonés Nagakawa.” *El País*. 13 de julio de 2001.

<sup>5</sup> 二〇一五年五月に筆者が問い合わせた時点では、目録の作成は全体の六五パーセントが済んだところであった。

<sup>6</sup> 筆者による辻光博氏へのインタビュー。二〇一八年一月九日。

域特講」と「比較文化論」のふたつを確認することができる<sup>7</sup>。いずれも通年科目だが、前者については後期のみ永川が担当している。その内容としては、「ヨーロッパ地域特講」では簡潔に「近代のヨーロッパ文明の諸相について」と記されているが、「比較文化論」ではより具体的にテーマと授業のねらいが記されている。

#### テーマ キャスリン・オヴ・アラゴンとその時代

授業のねらい キャスリンと強引に離婚するために、ヘンリー八世がローマ教会に背いてアングリカン・チャーチをつくったことは、その後のイギリスの文化や社会の大きな方向を決定した。キャスリンが厚く庇護していたエラスムス、トマス・モアらのヒューマニズム文化が衰えて、ヨーロッパはカトリック対ピューリタンの殺し合いの舞台と化し、仲の良かったスペイン帝国とイングランドも不倶戴天の仇敵になってゆく。両国の近代文学はこの険悪な環境のなかで花ひらいた。その発端まで遡って王妃としてのカタリーナの業績と、後世への影響をたどってみたい<sup>8</sup>。

授業のテキストとしては Muriel St. Clare Byrne, *The Letters of King Henry VIII* (1968) や Garrett Mattingly, *Catherine of Aragon* (1941) が挙げられ、訳読演習形式の授業として構想されていたことがわかる。そのほかにも、オムニバス形式で開講された科目を担当した可能性はあるが、すくなくとも同シラバスでは永川の名を確認できない。

また、永川は一九九九年十一月に開催された「国際交流と翻訳」と題する公開講座に登壇している<sup>9</sup>。大学が作成した広報用のチラシには、その内容がつぎのように紹介されている。

#### 《概要》

九州北部は歴史時代以前から活発な国際交流の舞台だった。この講座では現在そこに住んでいる人々に、おもに欧米での翻訳の現状を伝えたい。

#### 《内容》

- 第1回 国連本部での同時通訳と文書の翻訳
- 第2回 原文の言語と訳文の言語
- 第3回 どんな作品を翻訳すべきか？

<sup>7</sup> 北九州大学『北九州大学外国語学部第1部 シラバス (平成11年度)』北九州大学、一九九九年、三〇二頁、三〇九頁。

<sup>8</sup> 北九州大学『北九州大学外国語学部第1部 シラバス (平成11年度)』北九州市立大学、一九九九年、三〇九頁。

<sup>9</sup> 十一月十三日、二十日、二十七日の三回、いずれも土曜日の午後一時三十分から午後三時まで。同講座の開催は同年九月一日号の『市政だより』で告知されている (一三頁)。

現在の北九州市立大学には当日の資料などは残されていないが、公開講座の内容を浜口美由紀が部分的に採録している<sup>10</sup>。誤字脱字や情報の誤り、空白や不備が数多く認められるものの、最晩年の永川の肉声をとどめる資料として、その欠点を補って余りある貴重なものといえよう。

日本語を教えていたセビーリヤ大学での職も退き、すでに老齢を迎えていた永川にとって一年というまとまった時間を日本で過ごせる客員教員の誘いは、帰国の契機として渡りに船であったかもしれない。いずれにしても、スペインやイギリス・カ国に限定されることなく、ヨーロッパという広い視野でその文化をとらえ、また翻訳という営みを通じてその交流を論じた北九州大学でのこれらの講義、演習、公開講座が教師としての永川玲二最後の授業となった。客員教員としての期間、永川には研究室が与えられていた。しかし、ともに「ヨーロッパ地域特講」を担当した岡住正秀（北九州市立大学名誉教授）によれば、永川は多くの時間を国際関係学科の資料室で事務職員らとのおしゃべりに花を咲かせながら、その空間をサロンのようにして過ごしていたという<sup>11</sup>。

## 2. 永川玲二の死

その死の十四カ月前、すなわち日本に発つ前の永川はセビーリヤにあって脳梗塞とみられる症状を呈して病院に搬送されている<sup>12</sup>。すでに古希を迎え、体にさまざまな故障が出てもおかしくない年齢ではあった。永川の業績のうち、公にされた最後のものはホセ・オルテガ・イ・ガセーの「アンダルシア論 (Teoría de Andalucía)」の翻訳であるが<sup>13</sup>、共訳者の岡住正秀は、二〇〇〇年一月、入院した病院のベッドの上で推敲の筆を執るその姿を記憶しており、そのような状態にあってさえ、「とても丁寧に加筆修正をしていただいたことに感動をおぼえた」と当時のことをふりかえる<sup>14</sup>。

客員教員としての一年の任期をまっとうする以前に、永川の体調はすでに思わしくなかったのであろう。北九州をはなれてほどなく、永川は世を去った。その死について、長年の友人であった中野孝次はつぎのように記している。

永川玲二が死んだという知らせを受けた。知らせを受けたのは五月一日だったが、実際は東京の週貸しマンションの一室で死んでいたのを、死後一週間ぐらいたって発見されたものらしい<sup>15</sup>。

<sup>10</sup> 浜口美由紀「英文学者永川玲二の著作目録作成」『地域文化研究』六号、二〇〇八年、五一―六八頁。

<sup>11</sup> 筆者による岡住正秀氏へのインタビュー。二〇一七年十二月二十六日。

<sup>12</sup> 大工原彌太郎「セビーリヤ・ハボンの蟻ジゴクー英文学者・永川玲二・イダールゴ」川成洋、坂東省次編『南スペイン・アンダルシアの風景』丸善、二〇〇五年、一一―八頁。

<sup>13</sup> オルテガ・イ・ガセー「アンダルシア論」岡住正秀、永川玲二訳『北九州市立大学外国語学部紀要』一〇二号、二〇〇一年、一―二三頁。

<sup>14</sup> 筆者による岡住正秀氏へのインタビュー。二〇一七年十二月二十六日。

<sup>15</sup> 中野孝次「永川玲二の死」『別冊文藝春秋』二〇〇〇年夏号、四七―六頁。

『読売新聞』に掲載された追悼記事にしたがうならば<sup>16</sup>、この年の四月の終わり、東京のウィークリーマンションの一室で人知れずひっそりと息を引き取っていた永川が発見される<sup>17</sup>。死後九日が経過していた。

その死の二週間前には教え子の一人でスペインの通信社アヘンシア・エ・エフェ・エ (Agencia EFE) 東京支部の記者アルベルト・カベサスのインタビューに応じている。その一部と思しきものは、同年五月一日のスペインの日刊紙『エル・pais』に掲載された永川の死亡記事（「永川玲二 日本語で出版されたもっとも新しいアンダルシア史の著者」）のなかに見ることができる。そこには彼の経歴や著作の紹介と、五月の終わりにはセビーリャに戻って翻訳や研究を続ける予定であったことを知らせる文章に挟まれて、生前の永川の最後の言葉がスペイン語で記されている。

「ぼくは何も後悔はしていない。たくさん書きたくもなければ、有名になりたくもない。ただぼくにとって不思議に思われる事柄について、自分が読みたいと思うだろう本を書きたいだけだ」二週間前、作家は語った。スペインの転換〔フランコによる独裁体制から現在の立憲君主主体制への移行〕の時期にいくつもの日本の新聞にコラム記事を寄せた永川は、疲れを知らぬ旅行者であり、長年にわたりピレネーを訪れる登山愛好家であった。作家の際立った反ナショナリズム性向と六十年代の終わりにヨーロッパへと旅立った理由の一つは、軍学校で学んだ若き時代に、一九四五年八月十五日の日本の降伏によって味わった幻滅であった。「ある時は天皇陛下のために死に、命と引き換えにマッカーサーと戦いたいと思ったのさ。それからはもうイデオロギーなんてものを信じるのはやめた」永川は言った<sup>18</sup>。

このインタビューがなされたのがどのような文脈であれ、死の直前の永川が「何も後悔はしていない」と語っていることは興味深い<sup>19</sup>。このインタビューから一週間ほど後、永川は不帰の客となった。セビーリャのアパートに残された蔵書は、長い留守の後にその主を失った。

<sup>16</sup> 山内則史「気ままな放浪者」『読売新聞』二〇〇〇年六月十一日朝刊、三二頁。

<sup>17</sup> 永川の死について、異なる経緯（新宿で酒を飲んで転倒し、亡くなった）をドイツ文学者の種村季弘と医師の柴田二郎が伝えている。種村の回想は前後に記された永川にまつわるエピソードに多くの記憶違いを含んでおり、また柴田による消息も後日伝え聞いたものとされているため、あるいは事実誤認である可能性も排除できないが、どことなく永川らしさを伝える異聞ではある。いずれの人物も生前の永川と所縁が深かったことを考えるならば、直接の死因ではないにしても、永川が体調を崩し、命を落とすこととなった理由のひとつとして、そのような出来事があったのかもしれない。種村季弘「焼け跡酒豪伝」『雨の日はソファで散歩』筑摩書房、二〇〇五年、二〇三頁。柴田二郎『医者がススメル安楽死』新潮社、二〇〇一年、九六頁。

<sup>18</sup> EFE. “Reiji Nagakawa. Autor de la más reciente historia de Andalucía publicada en japonés.” *El País*. 1 de mayo de 2000. 本文中のスペイン語からの引用はすべて拙訳。

<sup>19</sup> ペルー出身でセビーリャ在住の作家フェルナンド・イワサキが四年前に行ったインタビューのなかで永川は「ぼくにはわずかな時間しか残されていない」と語っている。Iwasaki, Fernando. “Sevilla e Hiroshima se parecen en muchas cosas.” *El País*. 26 de agosto de 1996. 2.

### 3. 「業績」としての蔵書

視力の衰えていたホルヘ・ルイス・ボルヘスその人に書物の朗読をしたという異色の経歴を持つ作家アルベルト・マンゲル（日本ではマンゲルと紹介されている）は、ボルヘス同様に多言語に通じ、博覧強記で鳴る作家だが、「私の書庫がわが人生の記録だとすれば、この書齋は私という人間そのものをあらわしている<sup>20</sup>」という彼の言葉は、書齋が、またその蔵書が単なる物体としての本の集積ではなく、その主の人格的側面をも現前させることを言うものだろう。ジャン＝クロード・カリエールもまた、ウンベルト・エーコとの対談にあつて「私の蔵書は私の人となりを表している」と語っている<sup>21</sup>。ブリア・サヴァランの人口に膾炙する箴言に倣つて、「どんな本を読んでいるか言ってみたまえ。君がどんな人であるかを言いあててみせよう」ということもできるかもしれない<sup>22</sup>。

故人となった永川玲二の蔵書というものについて考える上では、八十歳を迎えてその蔵書を手放すという苦渋の決断を迫られた評論家紀田順一郎のつぎの言葉に多くを教えられる。紀田はかつてその膨大な蔵書を収めるために岡山の中山間部に家を建て、それらが整然と並んでいる姿を目にして「業績」としての蔵書という考えを抱くにいたつた。

吉備高原の書齋・書庫は、戦中から戦後にかけて教育を受け、読書に目覚めた私という個人の記録であり、後に文筆業としての生活が生み出した業績とはまた別個の業績である。こうした考えは、蔵書を整然と書架に並べることにより、自然に生まれた。背表紙をざっと見るだけで、そのような時代の年表や見取り図のように頭の中が整理され、体系づけられた<sup>23</sup>。

蔵書をひとつの体系づけられた総体として眺めることができるのは、収集に励んだその主のみであろう。しかしその主が鬼籍に入ったとしても、成果物としての蔵書を通じてその知的な営みを辿ることはなお可能であるに違いない。ここに「業績」としての蔵書という概念の重要性はある。

ひとつの知性の来し方を、またその向かうべき方向性ととも達することのなかつた成果も含めて一望のもとに呈する可能性を有する蔵書について、ひとつの知的な業績と呼ぶことに積極的な価値を見出すことは、広くは作家のそれに認められてきた。しかし、作家としての認知が永川玲二という人間についてなされてきたかといえ、大いに疑問を持たざるをえない。著書は僅かに二冊

<sup>20</sup> アルベルト・マンゲル『図書館 愛書家の楽園』野中邦子訳、白水社、二〇〇八年、一六二頁。

<sup>21</sup> エーコ、カリエール『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』工藤妙子訳、阪急コミュニケーションズ、二〇一〇年、四三六頁。

<sup>22</sup> 正しくは「どんなものを食べているか言ってみたまえ。君がどんな人であるか言いあててみせよう」ブリア・サヴァラン『美味礼賛（上）』関根秀雄、戸部松実訳、岩波文庫、一九六七年、二三頁。

<sup>23</sup> 紀田順一郎『蔵書一代 なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか』松籟社、二〇一七年、五四頁。



(『ことばの政治学』、『アンダルシア風土記』)にとどまっている。だが、ヴァルター・ベンヤミンのつぎの言葉は、アウトプットのみならず、そのインプットにおける審美眼ならびに吟味の重要性を雄弁に物語る。

書物の入手は、決してお金だけで、あるいは専門的知識だけでは済みません。しかも、お金と専門的知識の両方をもってしても、真正なる蔵書を築きあげるのに十分ではありません。神聖なる蔵書というものにはいつも、何か得体の知れないところ、そして同時に、他の人びとの蔵書と取り違えようのないところがあるからです<sup>24</sup>。

つまるところ、専門的知識をとまなう志向性のもとに集められた蔵書は、それ自体が問題意識を孕んだ資料収集の足跡にほかならない。したがって蔵書とは、その主の知的好奇心の反映として理解されるべきものである。とすれば、一体性を有する蔵書の価値とは創作に手を染める作家のそれのみに限定して認められるべきものではない。「八〇年代ぐらいまでに活躍した日本の学者、研究者は、伝統的に個人蔵書をベースに業績をあげてきたが、これは大学や図書館の貧弱な蔵書だけでは奥行きのある研究はできないという事情があったからだ<sup>25</sup>」と紀田は書いている。文献学にたずさわるすべての研究者は、蔵書の構築そのものに知的営為の痕跡を残していると考えてしかるべきなのである。

ペトラルカやボッカッチョに連なる人文主義者コルッチョ・サルターティの高弟のひとりであるニコロ・ニコリは死後その蔵書が売却され分散することを恐れ、それらを保管する図書館を建設するよう遺言を残したという<sup>26</sup>。旧蔵者が莫大な資金と入念な手筈を整えていたならば(ニコロ・ニコリは独身でありかつ裕福であった)、そのような仕儀も可能であったかもしれない。二〇一六年に物故したウンベルト・エーコの希望もそこにあった<sup>27</sup>。だが、じっさいには紀田の言うように、「専門家や物書き、趣味家などが多大な時間と費用をかけ、系統的に集積した知的資産が、ようやく客観的な質と量をそなえた矢先、スペース難や経済的理由で、ほとんど暴力的に散逸を強いられる<sup>28</sup>」というのが、大抵のコレクションが辿る末路である。それゆえに、程度の差こそあれ愛書家や蔵書家は、自分の死後その収集した書物が辿る運命を憂慮することになる。多くの場

<sup>24</sup> ヴァルター・ベンヤミン「蔵書の荷解きをする」『ベンヤミン・コレクション2 エッセイの思想』浅井健二郎編訳、ちくま学芸文庫、一九九六年、二三頁。

<sup>25</sup> 紀田順一郎『蔵書一代 なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか』松籟社、二〇一七年、三七頁。

<sup>26</sup> スティーブン・グリーンブラット『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』河野純治訳、柏書房、二〇一二年、一六五―一六六頁。

<sup>27</sup> エーコ、カリエール『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』工藤妙子訳、阪急コミュニケーションズ、二〇一〇年、四三五頁。

<sup>28</sup> 紀田順一郎『蔵書一代 なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか』松籟社、二〇一七年、二〇頁。

合、故人の期待はむなしく裏切られ、ひとつところに集められた蔵書は散り散りになっていく。書物が情報や思考を伝達する容れ物に過ぎぬ以上、それこそがまっとうな運命であるともいえるが、個々の書目に帰して一体性を失ったコレクションからは、旧蔵者がその全体に認めていた鉅脈の如き知的関心の在り様もまた消え去ってしまうのである。それは「業績」としての蔵書の解体にほかならない。

生まれた国とはいえ、その蔵書から遠くはなれた土地で亡くなった永川玲二はその処分について十分な手筈を整えることができなかつただろう。その散逸と解体はまぬかれなかに見えた。しかし、そうはならなかつたのである。

## 4. 永川玲二コレクションに含まれる日本語ならびに日本で刊行された文献とその目録の問題点

### 4.1. セビーリャ大学図書館所蔵の永川玲二コレクション

一九八八年、永川玲二はスペイン・セビーリャ大学言語研究所 (Instituto de Idiomas) 初の日本語講師となる。それから一九九二年に職を退くまで<sup>29</sup>、四年間にわたり同大学の学生に日本語を教えた。そのような機縁が永川の蔵書の解体を防ぐこととなった。二〇〇一年七月十二日、セビーリャ大学は永川玲二の遺した蔵書を一括してその図書館に引き取った。「セビーリャ大学、日本人教師永川の遺産を受贈」と題された翌日の新聞記事を引用する。

セビーリャ大学は昨日、同校と仕事の上でも人間的にもつながりのあった日本人教員、故永川玲二氏の遺志に基づき、その親族の数人も出席して執り行われた式典においてその蔵書遺産を受贈した。永川先生が収集したコレクションは学問的文化的に大きな価値を有し、彼の研究の対象となった多岐にわたる題材を証するものである。くわえて、同コレクションはセビーリャ大学図書館における東洋研究分野の蔵書の主題的内容を完成させるものである。

遺贈がなされたそのままにコレクションの全体性を尊重しつつ、目録化しこれらの蔵書をセビーリャ大学に統合することで、その普及と学術研究共同体による利用が可能となるだろう。寄贈されたそれぞれの書物には「永川玲二先生寄贈図書」の銘が打たれることになる<sup>30</sup>。

<sup>29</sup> 浜口の伝える永川の経歴紹介では平成六年（一九九四年）退職とある（五〇頁）。また一九九二年七月の『毎日新聞』の記事では、永川が翌一九九三年に大学の職を退くとされている（二六頁）。しかしセビーリャ大学東アジア研究専攻教員ラファエル・アバド・デ・ロス・サントスによれば、永川が同大学で日本語教育にあたったのは一九八八年から一九九二年までわずか四年あまりであったという（Abad de los Santos 2015, 8）。一般にスペインの学事歴は秋に始まるため、永川の在職期間が四年であったならば、その退職は一九九二年のことであつただろう。

<sup>30</sup> EFE. “La Universidad de Sevilla recibe el legado del profesor japonés Nagakawa.” *El País*. 13 de julio de 2001.

単にセビーリヤ大学で日本語を教えた経歴だけでは、永川の膨大な蔵書を一括して保存する必要性までは認められなかったであろう。おそらくは、専門や年齢を問わず、教員であると学生であるとを問わず、また大学の内外で永川と関わりを持ったすべての人々の故人に対する哀惜の念が、破格ともいえる待遇をその蔵書に与えることとなったものだろう。その証拠に、永川が亡くなった年の十二月、セビーリヤ大学は故人に対する敬意を表する式典を開催し、彼が住んでいたアパートのある建物に彼を記念する銘板を設置した。永川を偲ぶ人々の列は通りにまであふれたという<sup>31</sup>。

かくして散逸をまぬかれた永川の蔵書は、当初旧タバコ工場の建物内にあるセビーリヤ大学の総合図書館 (Biblioteca General) に収蔵されていたが、二〇一七年に新設されたアントニオ・マチャード・イ・ヌーニェス (人類学者、動物学者でセビーリヤ大学の学長を務めた) の名を冠する図書館へと移された。同図書館は揺籃期本や歴史的資料を主に収蔵する。アベニーダ・デ・ラ・グアルディア・シビルに位置するその建物に移転したことで永川玲二の蔵書は、その主が朝な夕な幾度となく眺めたグアダルキビール河により近づくこととなったのである。

コレクションは全体で三七〇六の資料を有する。そのうち一三七点が日本語あるいは日本で刊行されたものであり、残る二五六九点は百科事典や辞典類も含めヨーロッパの様々な言語によるものである。さまざまな理由から請求記号には欠番が含まれる。また、同一の請求記号に二点の書物が収められているケースがふたつある (A Nagakawa 0125 と A Nagakawa 0126)。

#### 4. 2. 日本語ならびに日本で刊行された文献とその目録の問題点

永川玲二コレクションにおける日本語ならびに日本で刊行された書籍は全体の三〇・七パーセントを占めている。けっしてすくなくない量の日本語の本が永川のアパートには置かれていた。このことは、研究にあたって永川が外国語の文献のみに立脚していたと考えることが誤りであることを示す。日本をはなれてもなお永川にとって日本語は、研究の基盤となる最重要言語のひとつであり続けた。『ことばの政治学』にみられる言語をめぐる考察が、単に外から眺めた日本語というばかりの一方的なものにとどまらなかった理由はここに求められよう。また、セビーリヤ大学でスペイン人学生たちに日本語を教えるにあたって活用したと思われる書目 (教科書や辞書の類) も数多く見られる。どれくらいの頻度で永川が日本に帰国していたのかを正確に知ることはできないが (公開講座で永川は三十年間で三回か四回帰国したと語っている<sup>32</sup>)、自身で購<sup>あがな</sup>ったもののほかに、友人知人を介して日本から送ってもらったものや、運んで来てもらったものもあるのだろう。単純に日本語文献とせず日本語ならびに日本で刊行された文献としたのは、永川の蔵書には日本で刊行

<sup>31</sup> Blas Fernández. “La Universidad Hispalense rinde homenaje a Reiji Nagakawa.” *El Diario de Sevilla*. 3 de diciembre de 2000.

<sup>32</sup> 浜口美由紀「英文学者永川玲二の著作目録作成」『地域文化研究』六号、二〇〇八年、六五頁。

された英語やスペイン語による書物や外国で刊行された日本語による書物が若干含まれるからである。

すでに述べたとおり、永川の蔵書は目録の作成が完了しており、セビーリャ大学の蔵書検索システム (<http://fama.us.es/>) をつうじて検索する事ができる<sup>33</sup>。しかし日本語ならびに日本で刊行された書籍にかんしては、つぎのような問題点が見受けられる。

- (1) すべての情報がアルファベットによって入力されている。
- (2) 著者名、書名、出版社名など書誌情報に誤りが多い。
- (3) 書き込みなど個別の資料に関する情報がない。
- (4) 請求記号のならびにあって日本語ならびに日本で刊行された書籍が分断されている。

(1) と (2) については、すべての書誌情報がいわゆるローマ字で入力されているため、蔵書レコードから著者名、書名を類推する事が著しく困難である。また著者名、書名、出版社名の漢字の読みに誤りがおびただしく認められる。書名が恣意的にスペイン語に訳されて登録されているケースもある。したがって、当該の資料が何を指すのかを特定することが困難であり、目的とする資料を見つけることは容易ではない。(3) については、元々個人の蔵書であったという来歴から、永川自身による書き込みや線引き、著者からの献呈の言葉などが見られるが、そうした個別の資料に関する情報が欠如している。永川は新聞記事の切り抜きなどを書物に挟み込んでいる場合があるのだが、そうしたことも一切記録されていない。一九八七年に物故した澁澤龍彦は膨大な蔵書を遺したが、二〇〇六年に刊行されたその蔵書目録では記号を付してさまざまな情報を伝える工夫がなされている。個々の書き込みについては望むべくもないが、その有無だけでも知ることができれば十分に有益なはずである。(4) については、蔵書の一覧性という観点から問題が大きい。永川の蔵書における日本語ならびに日本で刊行された書籍は若干の例外を除いて、請求記号の上で A Nagakawa 0001 から A Nagakawa 0295、そして A Nagakawa 2852 から A Nagakawa 3629、それに続く A Nagakawa Fol.01 から A Nagakawa Fol.51 (A Nagakawa Fol.23 をのぞく) にその大部分が含まれる。保存状態など諸般の事情により箱の中に保管されたために異なる請求記号が付与された最後のグループ (A Nagakawa Fol.XX) を別にしても、日本語による書籍を主にした書棚のまとまりが二箇所に分かれていたと考えてよいだろう。大学図書館が永川の蔵書を引き取るに際して、何らか

<sup>33</sup> 同大学の総合検索システムである fama+ で検索できるが、直接に永川コレクションにたどり着くことはできない。蔵書のみを検索する Catálogo から “nagakawa” で検索してもコレクション中のすべての資料は表示されない。同じ検索結果から “B Rector Machado y Núñez (A Nagakawa XXXX)” のように表示されている資料を任意で選択し、その後「旧カタログで表示 (ver en catálogo clásico)」をクリックして、上段の検索範囲に CALL NO を指定し、検索語を “a nagakawa” としてはじめてすべての資料が一覧表示される。

の原則によって一方のまとまりの棚から機械的かつ順番に作業を開始したことは容易に想像できる。永川が整理に意を尽くしたことは、出版社ごとのシリーズ、叢書、文庫、新書がある程度まとめて配列されていることから十分にうかがい知ることができる。しかしそれぞれの書目が永川の自宅にあってどの書棚に納められていたかの情報は残念ながら保存されていない。それならば、このふたつのグループがともに日本語という同じ言語によるものであることを考えれば、請求記号の上で統合することがなお望ましかったのではないと思われる。

以上の事を考慮して、永川玲二コレクションにおける日本語ならびに日本で刊行された書籍の目録を作成した。(1)と(2)については日本語による正しい書誌情報を記録した。著者(编者)名は見やすさを考慮して、日本人または漢字表記の場合には姓名を半角スペースで区切り、外国人の場合には中黒で区切った。後者について省略のピリオドは考慮していない。また原語表記のものについてはそれにしたがった。発行年は初版ではなく当該の刷の発行年を記載した。古書の場合もあり、かならずしも正確ではないが、それぞれの書籍を永川が入手した時期を推測するのに有益と考えたからである。正確な書誌情報を得ることができなかった場合には備考にその旨を記している。(3)についてはなお綿密な調査が必要となるため、その一部を備考欄に記載した(A Nagakawa 0001 から A Nagakawa 0295 まで)。また副本の所在についても備考欄に記載した。(4)については、本目録が日本語ならびに日本で刊行された書籍のみを扱っているので解決している。一部洋書の棚に紛れ込んでいたであろう書籍については請求記号の順に含める事としたが、その数はいたって僅少である。

## むすびにかえて

東京都立大学でかつて永川玲二の同僚であった種村季弘は、彼の本とのつきあい方についてつぎのようにふりかえっている。

放浪している間に単純生活っていうのかな、放浪者のテクニックを身につけていてね。家に行ってもトランク二つとリュックサックぐらいしかない。本は研究室に置くか、読んだら売っちゃう<sup>34</sup>。

ここにあるのは、書物を収集することに頓着しない永川の姿であろう。しかし、ヨーロッパの西端に流れ着き、そこに三十年ちかく定住した永川が生活した空間は、種村が回想するように簡素なも

---

<sup>34</sup> 種村季弘「焼け跡酒豪伝」『雨の日はソファで散歩』筑摩書房、二〇〇五年、二〇二頁。

のではなかった<sup>35</sup>。四千に迫る蔵書がひしめき合う、放浪の王子の図書館でそれはあった。

冒頭に引いた挨拶で丸谷はつぎのようにも述べている。

評論は本が二冊あつて、どれもいいものですが、彼の才能を存分に発揮したとは言ひにくい。わたしが永川の教養、学問、言語感覚、頭の回転、趣味のよさを高く買ってゐるせいかもしれませんが、彼の真価が示される本はつひに書かれないでしまつたといふ気がします<sup>36</sup>。

二冊の著書にくわえて膨大な量の翻訳を遺したとはいえ、永川の真価が発揮される本が「つひに書かれないでしまつた」ことは、直接、間接に彼を知る人々にとっておおいに残念なことであった。けれども、「業績」としての蔵書という考えからすれば、達成されることのなかつた仕事のために永川が何を読み、何を集め、メモや書き込みを残したのかを知ることがセビーリヤ大学図書館の永川コレクションによってなお可能である。一見脈絡を欠くように思われる書目でさえも、蔵書全体のなかでの関係性によって、永川が幅広い関心を持つ研究者であつたこと、練達の翻訳者であつたことを明らかに裏付ける証拠となる。

永川のやり残した仕事については、たとえばつぎのような証言が残る。

永川は仕事をしようとしなのではないらしい。イスラム文化の西漸の歴史に関心を抱き、何十年もかけてその文献を収集しているという。今やそれは膨大な量に上るらしいが、やがてそれをもとに長大な歴史小説を書きたいといつか漏らしたことがある<sup>37</sup>。

彼〔永川〕はすつとイギリスに行っちゃってさ。カモエンスというポルトガルの大詩人の伝記小説を書くための資料探しにね。カモエンスには「ルシアダス」という、ポルトガルからフィリピンぐらいまで航海する海洋抒情詩とでもいう作品があつてね。それがお好きだったんだね。それで資料漁りにヨーロッパに行ったら、ロンドンでは英語が通用しなかつた。ところがリスボンに行ったらポルトガル語が通じてね、嬉しくなつてそこに定住しちゃったんだな<sup>38</sup>。

〔フォルクス・〕ワーゲンを擬人化して夏目漱石ばりの小説を書く構想は、パンプロナなどの

<sup>35</sup> 渡辺雅哉「セビーリヤの人。書いた。訳した。しゃべつた。——永川玲二」川成洋、坂東省二編『スペインと日本人』丸善、二〇〇六年、一七四頁。

<sup>36</sup> 丸谷オ一「放浪の王子のやうな生き方」『合本 挨拶はたいへんだ』朝日文庫、二〇一三年、四五〇頁。

<sup>37</sup> 中野孝次「解説」永川玲二『ことばの政治学』岩波書店（同時代ライブラリー）、一九九五年、三四九頁。

<sup>38</sup> 種村季弘「焼け跡酒豪伝」『雨の日はソファで散歩』筑摩書房、二〇〇五年、二〇二頁。永川がリスボンに定住したというのは種村の勘違いだが、永川の蔵書には数多くの『ウズ・ルジアダス』関連書籍が含まれる。種村の言う通り永川がカモニスこの作品に関心をもっていたことは、その蔵書によって立証できる。

炉端談義で何度となく聞かされていて、実に面白かった<sup>39</sup>。

これらのいずれもが、軽い思いつきやその場限りのアイデアでなかったことは、永川の蔵書を前にすれば容易に検証できる。ここに「業績」としての蔵書の価値がある。その意味でセビーリヤ大学図書館が所蔵する永川玲二コレクションは決定的に重要であり、その詳細な調査が俟たれるのである。それは、成し遂げられなかった仕事について空想をたくましくすることではなく、成し遂げられなかった仕事について、何が成されたかを明らかにすることだからである。

グアダルキビール河を望むカスティーリヤ通り十六番地のアパートに設置された彼を記念する銘板も今では撤去され、目にすることができないという<sup>40</sup>。時間の流れと記憶の忘却に抗するすべはないが、この不世出の知識人を偲ぶ縁は大河のほとり、セビーリヤ大学図書館の一隅に今も眠っている。

本稿執筆にあたっては辻光博先生、岡住正秀先生（ともに北九州市立大学名誉教授）に大変お世話になりました。記して感謝を申し上げます。

## 参考文献

- エーコ、ウンベルト、ジャン＝クロード・カリエール『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』工藤妙子訳、阪急コミュニケーションズ、二〇一〇年。
- 大滝啓裕『翻訳家の蔵書』東京創元社、二〇一六年。
- オルテガ・イ・ガセー、〔ホセ〕「アンダルシア論」岡住正秀、永川玲二訳『北九州市立大学外国語学部紀要』一〇二号、二〇〇一年、一一―二三頁。
- 川成洋「セビーリヤ再訪——その個人的な点描」『アクエドゥクト』一号、二〇一〇年、六―七頁。
- 川成洋、坂東省次編『南スペイン・アンダルシアの風景』丸善、二〇〇五年。
- 北九州市広報室広報課『市政だより きたきゅうしゅう』八六五号（一九九九年九月一日号）。
- 北九州大学『北九州大学五十年史』北九州大学、一九九八年。
- 北九州大学外国語学部第1部『シラバス（平成11年度）』北九州大学、一九九九年。
- 紀田順一郎『蔵書一代 なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか』松籟社、二〇一七年。
- グリーンブラット、スティーブン『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』河野純治訳、柏書房、二〇一二年。
- 佐伯泰英『惜憐荘だより』岩波現代文庫、二〇一六年。
- 重里徹也「スペインの師匠はボヘミアン」佐伯泰英『鉄砲狩 決定版』光文社、二〇一四年、三六〇―三七一

<sup>39</sup> 佐伯泰英『惜憐荘だより』岩波現代文庫、二〇一六年、三四頁。

<sup>40</sup> 川成洋「セビーリヤ再訪——その個人的な点描」『アクエドゥクト』一号、二〇一〇年、七頁。

頁。

柴田二郎『医者がススメル安楽死』新潮社、二〇〇一年。

国書刊行会編集部編『書物の宇宙誌 澁澤龍彦蔵書目録』国書刊行会、二〇〇六年。

大工原彌太郎「セビーリャ・ハボンの蟻ジゴク－英文学者・永川玲二・イダールゴ」『南スペイン・アンダルシアの風景』丸善、二〇〇五年、一一八－一二三頁。

宝島社出版部編『佐伯泰英！』宝島社、二〇〇七年。

種村季弘「焼け跡酒豪伝」『雨の日はソファで散歩』筑摩書房、二〇〇五年、一九二－二〇八頁。

辻光博『アンダルシア物語』書肆季節社、一九八三年。

永川玲二『ことばの政治学』岩波書店（同時代ライブラリー）、一九九五年。

——『アンダルシア風土記』岩波書店、一九九九年。

中野孝次「永川玲二——中年の哲学的放浪者——」『新潮』一九八一年十二月号、二六八－二七九頁。

——「解説」永川玲二『ことばの政治学』岩波書店（同時代ライブラリー）、一九九五年、三四五－三五一頁。

——「永川玲二の死」『別冊文藝春秋』二〇〇〇年夏号、四七六－四八四頁。

浜口美由紀「英文学者永川玲二の著作目録作成」『地域文化研究』六号、二〇〇八年、四九－八五頁。

ブリア・サヴァラン、〔ジャン・アンテルム〕『美味礼賛（上）』関根秀雄、戸部松実訳、岩波文庫、一九六七年。

ベンヤミン、ヴァルター「蔵書の荷解きをする」『ベンヤミン・コレクション2 エッセイの思想』浅井健二郎編訳、ちくま学芸文庫、一九九六年、一三－三二頁。

丸谷オー「放浪の王子のやうな生き方」『合本 挨拶はたいへんだ』朝日文庫、二〇一三年、四四八－四五二頁。

マンゲル、アルベルト『図書館 愛書家の楽園』野中邦子訳、白水社、二〇〇八年

山内則史「気ままな放浪者」『読売新聞』二〇〇〇年六月十一日朝刊、三二頁。

吉田弘之「五輪の国のハボン4 永住する英文学者「机上の学問」を捨て」『毎日新聞』一九九二年七月十四日朝刊、二六頁

渡辺雅哉「セビーリャの人。書いた。訳した。しゃべった。——永川玲二」川成洋、坂東省二編『スペインと日本人』丸善、二〇〇六年、一七四－一九〇頁。

Abad de los Santos, Rafael. “Prólogo.” *Asiadémica : revista universitaria de estudios sobre el Asia Oriental*. Núm. 6 (2015). 7-8.

(<https://drive.google.com/file/d/0B3jEirh8210kRHh2VWQxZDBrTEk/view>) (二〇一八年一月四日最終閲覧)

EFE. “Reiji Nagakawa. Autor de la más reciente historia de Andalucía publicada en japonés.” *El País*. 1 de mayo de 2000. ([https://elpais.com/diario/2000/05/01/agenda/957132001\\_850215.html](https://elpais.com/diario/2000/05/01/agenda/957132001_850215.html)) (二〇一八年一月四日最終閲覧)

——. “La Universidad de Sevilla recibe el legado del profesor japonés Nagakawa.” *El País*. 13 de julio de 2001. ([https://elpais.com/diario/2001/07/13/andalucia/994976563\\_850215.html](https://elpais.com/diario/2001/07/13/andalucia/994976563_850215.html)) (二〇一八年一月四日最終閲覧)

Fernández, Blas. “La Universidad Hispalense rinde homenaje a Reiji Nagakawa.” *El Diario de Sevilla*. 3 de diciembre de 2000.

Rivera, Agustín. “Reiji Nagakawa. Un intelectual japonés de Triana.” *El Mundo*. 2 de mayo de 2000. 6.



Valenzuela, Alfredo. “Reigi Nagakawa. Ex profesor de literatura inglesa en Tokio, se ha instalado en Sevilla para estudiar a Colón.” *El País*. 6 de enero de 1986. ([https://elpais.com/diario/1986/01/06/ultima/505350003\\_850215.html](https://elpais.com/diario/1986/01/06/ultima/505350003_850215.html)) (二〇一八年一月四日最終閲覧)

永川蔵書

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0001	司馬 遼太郎	歴史と視点 — 私の雑記帖 (新潮文庫)	新潮社	1974	
A Nagakawa 0002	村上 春樹	カンガルー日和 (講談社文庫)	講談社	1986	
A Nagakawa 0003	田中 明彦	世界システム (現代政治学叢書)	東京大学出版会	1989	
A Nagakawa 0004	塩野 七生	レバントの海戦	新潮社	1987	
A Nagakawa 0005	パート・S・ホール	火器の誕生とヨーロッパの戦争	平凡社	1999	
A Nagakawa 0006	羽仁 五郎	教育の論理 — 文部省廃止論 (講談社文庫)	講談社	1981	
A Nagakawa 0007	ロバート・B・パーカー	失投 (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1985	
A Nagakawa 0008	ロバート・B・パーカー	ゴッドウルフの行方 (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1986	書き込み
A Nagakawa 0009	ロバート・B・パーカー	約束の地 (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1987	
A Nagakawa 0010	金田一 京助編	例解学習国語辞典	小学館	1990	副本 0011
A Nagakawa 0011	金田一 京助編	例解学習国語辞典	小学館	1990	副本 0010
A Nagakawa 0012	ロバート・B・パーカー	レイチェル・ウォレスを捜せ (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1988	
A Nagakawa 0013	ロバート・B・パーカー	初秋 (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1988	書き込み
A Nagakawa 0014	ロバート・B・パーカー	残酷な土地 (ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1989	
A Nagakawa 0015	田中 彰	岩倉使節団『米欧回覧実記』(同時代ライブラリー)	岩波書店	1994	
A Nagakawa 0016	竹内 直一	日本の官僚 — エリート集団の生態 (現代教養文庫)	社会思想社	1988	
A Nagakawa 0017	生出 寿	海軍兵学校よもやま物語 (徳間文庫)	徳間書店	1990	
A Nagakawa 0018	井伏 鱒二	黒い雨 (新潮文庫)	新潮社	1970	
A Nagakawa 0019	ドウス 昌代	私が帰る二つの国 (文春文庫)	文藝春秋	1985	
A Nagakawa 0020	坂本 勉、鈴木 董編	イスラーム復興はなるか (講談社現代新書)	講談社	1993	線引き
A Nagakawa 0021	佐藤 次高、鈴木 董編	都市の文明イスラーム (講談社現代新書)	講談社	1993	線引き
A Nagakawa 0022	和辻 哲郎	風土 — 人間学的考察 (岩波文庫)	岩波書店	1988	
A Nagakawa 0023	村上 春樹、糸井 重里	夢で会いましょう (講談社文庫)	講談社	1986	
A Nagakawa 0024	藤原 正彦	若き数学者のアメリカ (新潮文庫)	新潮社	1981	書き込み
A Nagakawa 0025	田辺 聖子	川柳でんでん太鼓 (講談社文庫)	講談社	1988	
A Nagakawa 0026	椎名 誠	全日本食えばわかる図鑑 (集英社文庫)	集英社	1989	
A Nagakawa 0027	石川 啄木	石川啄木集 上巻 (新潮文庫)	新潮社	1970	
A Nagakawa 0028	平島 二郎	世界建築史の旅 (中公文庫)	中央公論社	1992	
A Nagakawa 0029	大江 健三郎	新しい人よ眼ざめよ (講談社文庫)	講談社	1986	
A Nagakawa 0030	森村 誠一	青春の神話 (光文社文庫)	光文社	1986	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0031	横山 宏章	ソ連、ポーランド、中国に見る マルクスの誤算 — 社会主義は死んだのか	ベストセラーズ	1982	
A Nagakawa 0032	井上 ひさし	頭痛肩こり樋口一葉	集英社	1984	
A Nagakawa 0033	小池 滋	英国流立身出世と教育(岩波新書)	岩波書店	1992	副本 0165
A Nagakawa 0034	荒井 信一	ゲルニカ物語 — ピカソと現代史(岩波新書)	岩波書店	1991	
A Nagakawa 0035	川成 洋編	世界の古書店(丸善ライブラリー)	丸善	1994	
A Nagakawa 0036	井上 ひさし	下駄上の卵(新潮文庫)	新潮社	1982	
A Nagakawa 0037	中沢 新一	雪片曲線論(中公文庫)	中央公論社	1988	
A Nagakawa 0038	開高 健	ずばり東京(文春文庫)	文藝春秋	1982	
A Nagakawa 0039	桐生 操	美しき拷問の本(角川ホラー文庫)	角川書店	1985	
A Nagakawa 0040	山崎 豊子	大地の子〈2〉(文春文庫)	文藝春秋	1996	
A Nagakawa 0041	宮脇 俊三	時刻表昭和史(角川文庫)	角川書店	1987	
A Nagakawa 0042	マーク・トウェイン	不思議な少年(岩波文庫)	岩波書店	1992	
A Nagakawa 0043	吉川 幸次郎	陶淵明伝(中公文庫)	中央公論社	1989	書き込み
A Nagakawa 0044	アズモンド・モリス	裸のサル — 動物学的人間像(角川文庫)	角川書店	1979	
A Nagakawa 0045	城山 三郎	秀吉と武吉 — 目を上げれば海(新潮文庫)	新潮社	1986	
A Nagakawa 0046	鼓 直編	ラテンアメリカ怪談集(河出文庫)	河出書房新社	1990	
A Nagakawa 0047	堀田 善衛	歴史の長い影(ちくま文庫)	筑摩書房	1992	
A Nagakawa 0048	丸谷 才一	6月16日の花火	岩波書店	1986	
A Nagakawa 0049	小島 千加子	星の町	思潮社	1993	副本 0051
A Nagakawa 0050	バースケス・モンタルバン	中央委員会殺人事件(西和リプロス)	西和書林	1981	
A Nagakawa 0051	小島 千加子	星の町	思潮社	1993	副本 0049
A Nagakawa 0052	寺村 秀夫	日本語のシンタクスと意味(第1巻)	くろしお出版	1982	
A Nagakawa 0053	鶴見 俊輔、吉川 勇一、吉岡 忍編	帰ってきた脱走兵 — ベトナムの戦場から25年	第三書館	1994	
A Nagakawa 0054	常岡・乗本 せつ子、C・ダグラス・ラミス、鶴見俊輔	英文対訳 日本国憲法をよむ(ブックス・ブラクシス)	柏書房	1993	
A Nagakawa 0055	司馬 遼太郎	「明治」という国家(愛蔵版)	NHK 出版	1989	
A Nagakawa 0056	小島 千加子	作家の風景	毎日新聞社	1990	副本 0057, 0230
A Nagakawa 0057	小島 千加子	作家の風景	毎日新聞社	1990	副本 0056, 0230
A Nagakawa 0058	鈴木 孝夫	日本語と外国語(岩波新書)	岩波書店	1990	副本 0059
A Nagakawa 0059	鈴木 孝夫	日本語と外国語(岩波新書)	岩波書店	1990	副本 0058
A Nagakawa 0060	永井 清彦	国境をこえるドイツ — その過去・現在・未来(講談社現代新書)	講談社	1992	
A Nagakawa 0061	江村 洋	ハプスブルク家の女たち(講談社現代新書)	講談社	1993	
A Nagakawa 0062	木村 尚三郎	ケジメの時代(新潮文庫)	新潮社	1982	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0063	千田 善	ユーゴ紛争 — 多民族・モザイク国家の悲劇(講談社現代新書)	講談社	1993	
A Nagakawa 0064	長谷川 真理子	オスとメス = 性の不思議(講談社現代新書)	講談社	1993	
A Nagakawa 0065	丸山 真男	日本の思想(岩波新書)	岩波書店	1961	
A Nagakawa 0066	高階 秀爾	名画を見る眼(岩波新書)	岩波書店	1969	
A Nagakawa 0067	E・シュレーディンガー	生命とは何か — 物理的にみた生細胞(岩波新書)	岩波書店	1975	
A Nagakawa 0068	井上 清	日本の歴史(下)(岩波新書)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 0069	桑原 武夫編	一日一言 — 人類の知恵(岩波新書)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 0070	日高 六郎	戦後思想を考える(岩波新書)	岩波書店	1992	
A Nagakawa 0071	増田 義郎	略奪の海カリブー もうひとつのラテン・アメリカ史(岩波新書)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 0072	山田 俊雄	ことばの履歴(岩波新書)	岩波書店	1991	
A Nagakawa 0073	桑原 靖夫	国境を越える労働者(岩波新書)	岩波書店	1991	
A Nagakawa 0074	佐高 信	現代を読む — 100冊のノンフィクション(岩波新書)	岩波書店	1992	
A Nagakawa 0075	加藤 登紀子	止まらない汽車(新潮文庫)	新潮社	1983	
A Nagakawa 0076	妹尾 河童	河童が覗いたニッポン(新潮文庫)	新潮社	1984	
A Nagakawa 0077	青木 雨彦	男の博物誌(講談社文庫)	講談社	1983	書き込み
A Nagakawa 0078	結城 了悟	ザビエル(聖母文庫)	聖母の騎士社	1999	
A Nagakawa 0079	奥村 宏	三菱 — 日本を動かす企業集団(現代教養文庫)	社会思想社	1987	
A Nagakawa 0080	木村 肥佐生	チベット潜行十年(中公文庫)	中央公論新社	1982	書き込み
A Nagakawa 0081	大江 健三郎	小説のたくらみ、知の楽しみ(新潮文庫)	新潮社	1989	
A Nagakawa 0082	ダニエル・デフォー	ロビンソン・クルーソー(集英社文庫)	集英社	1995	
A Nagakawa 0083	シャーロット・ボール	わが子が消えた(光文社文庫)	光文社	1987	
A Nagakawa 0084	白石 一郎	海狼伝(文春文庫)	文藝春秋	1990	
A Nagakawa 0085	丸谷 才一	女ざかり(文春文庫)	文藝春秋	1996	
A Nagakawa 0086	鈴木 董編	パクス・イスラミカの世紀(講談社現代新書)	講談社	1993	線引き
A Nagakawa 0087	大泉 光一	支倉常長 — 慶長遣欧使節の悲劇(中公新書)	中央公論新社	1999	
A Nagakawa 0088	アンドレ・ジスバール	地中海の覇者ガレー船(「知の再発見」双書)	創元社	1987	
A Nagakawa 0089	浜田 義一郎	誹風 柳多留(初篇)(現代教養文庫)	社会思想社	1988	
A Nagakawa 0090	丸谷 才一	夜中の乾杯(文春文庫)	文藝春秋	1990	
A Nagakawa 0091	司馬 遼太郎	菜の花の沖(1)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 0092	阿部 謹也	ハーメルンの笛吹き男 — 伝説とその世界(ちくま文庫)	筑摩書房	1988	
A Nagakawa 0093	金子 光晴	マレー蘭印紀行(中公文庫)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 0094	三島 由紀夫	愛の渴き(新潮文庫)	新潮社	1950	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲ニコレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0095	阿川 弘之	山本五十六(上)(新潮文庫)	新潮社	1969	
A Nagakawa 0096	阿川 弘之	山本五十六(下)(新潮文庫)	新潮社	1969	
A Nagakawa 0097	三島 由紀夫	美徳のよろめき(新潮文庫)	新潮社	1957	
A Nagakawa 0098	向田 邦子	蛇蠍のごとく(新潮文庫)	新潮社	1982	
A Nagakawa 0099	文藝春秋編	アンソロジー 人間の情景(8) 動物との日々(文春文庫)	文藝春秋	1993	
A Nagakawa 0100	オルソラ・ネーミ、 ヘンリー・ファースト	カトリーヌ・ド・メディス(中公文庫)	中央公論社	1980	線引き、書き込み
A Nagakawa 0101	司馬 遼太郎	峠(上巻)(新潮文庫)	新潮社	1975	
A Nagakawa 0102	佐藤 愛子	ひとりぼっちの鳩ポッポ(集英社文庫)	集英社	1989	
A Nagakawa 0103	ポール・ボネ	不思議の国ニッポンー 最近ニッポン事情(Vol.9)(角川文庫)	角川書店	1984	
A Nagakawa 0104	平泉 澄	物語日本史(中)(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 0105	平泉 澄	物語日本史(上)(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 0106	山崎 豊子	大地の子(文春文庫)	文藝春秋	1994	巻数不明
A Nagakawa 0107	ルシアン・ネイハム	シャドー 81(新潮文庫)	新潮社	1977	
A Nagakawa 0108	文藝春秋編	完本・太平洋戦争〈2〉(文春文庫)	文藝春秋	1994	
A Nagakawa 0109	文藝春秋編	私は見たー 決定的体験(文春文庫)	文藝春秋	1990	
A Nagakawa 0110	三島 由紀夫	仮面の告白(新潮文庫)	新潮社	1949	渡辺雅哉の書き込み
A Nagakawa 0111	白石 一郎	風雲児〈上〉(文春文庫)	文藝春秋	1998	
A Nagakawa 0112	庄野 直美編	ヒロシマは昔話かー 原水爆の写真と記録(新潮文庫)	新潮社	1984	
A Nagakawa 0113	ロバート・B・パーカー	誘拐(ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1989	書き込み
A Nagakawa 0114	野坂 昭如	東京十二契(文春文庫)	文藝春秋	1985	
A Nagakawa 0115	結城 昌治	森の石松が殺された夜(徳間文庫)	徳間書店	1988	
A Nagakawa 0116	鷹羽 十九哉	虹へ、アヴァンチュール(文春文庫)	文藝春秋	1986	
A Nagakawa 0117	フィッツジェラルド	偉大なギャツビー(集英社文庫)	集英社	1994	
A Nagakawa 0118	レイモンド・チャンドラー	長いお別れ(ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1976	
A Nagakawa 0119	谷崎 潤一郎	陰翳礼讃(中公文庫)	中央公論新社	1975	
A Nagakawa 0120	谷崎 潤一郎	細雪(下)(新潮文庫)	新潮社	1985	
A Nagakawa 0121	谷崎 潤一郎	細雪(中)(新潮文庫)	新潮社	1968	
A Nagakawa 0122	ルイス・フロイス	ヨーロッパ文化と日本文化(岩波文庫)	岩波書店	1991	
A Nagakawa 0123	ジャン・マルテユ	ガレー船徒刑囚の回想(岩波文庫)	岩波書店	1996	
A Nagakawa 0124	ピーター・ミルワード	ザビエルの見た日本(講談社学術文庫)	講談社	1998	
A Nagakawa 0125	筒井 康隆	富豪刑事(新潮文庫)	新潮社	1984	
A Nagakawa 0125bis	フランツ・シュミット	ある首斬り役人の日記	白水社	1989	請求記号重複

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0126	鈴木 孝夫	ことばの社会学(新潮文庫)	新潮社	1991	線引き
A Nagakawa 0126bis	コリン・マッケイブ	ジェイムズ・ジョイスと言語革命	筑摩書房	1991	請求記号重複
A Nagakawa 0127	トルストイ	少年時代(新潮文庫)	新潮社	1972	
A Nagakawa 0128	開高 健	輝ける闇(新潮文庫)	新潮社	1982	
A Nagakawa 0129	三浦 綾子	千利休とその妻たち(上)(新潮文庫)	新潮社	1988	
A Nagakawa 0130	三浦 綾子	千利休とその妻たち(下)(新潮文庫)	新潮社	1988	
A Nagakawa 0131	谷崎 潤一郎	卍(新潮文庫)	新潮社	1984	
A Nagakawa 0132	村上 春樹	象工場のハッピーエンド(新潮文庫)	新潮社	1986	
A Nagakawa 0133	シェイクスピア	ハムレット(集英社文庫)	集英社	1998	副本 0156
A Nagakawa 0134	平泉 澄	物語日本史 下(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 0135	ロバート・B・パーカー	ユダの山羊(ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1987	
A Nagakawa 0136	宮本 輝	二十歳の火影(講談社文庫)	講談社	1983	
A Nagakawa 0137	吉野 源三郎	君たちはどう生きるか(岩波文庫)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 0138	斉藤 孝	スペイン戦争 — ファシズムと人民戦線(中公文庫)	中央公論社	1989	線引き
A Nagakawa 0139	井上 ひさし	私家版 日本語文法(新潮文庫)	新潮社	1984	
A Nagakawa 0140	尾崎 秀樹	近代文学の傷痕 — 旧植民地文学論(同時代ライブラリー)	岩波書店	1991	
A Nagakawa 0141	井上 靖	猟銃・闘牛(新潮文庫)	新潮社	1966	
A Nagakawa 0142	井伏 鱒二	山椒魚(新潮文庫)	新潮社	1948	
A Nagakawa 0143	中上 健次	鳳仙花(新潮文庫)	新潮社	1982	
A Nagakawa 0144	外山 滋比古	日本語の論理(中公文庫)	中央公論社	1987	
A Nagakawa 0145	梅棹 忠夫	美意識と神さま(中公文庫)	中央公論社	1985	
A Nagakawa 0146	安東 次男	芭蕉連句評釈(下)(講談社学術文庫)	講談社	1994	
A Nagakawa 0147	安東 次男	芭蕉連句評釈(上)(講談社学術文庫)	講談社	1994	
A Nagakawa 0148	鈴木 孝夫	ことばの人間学(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 0149	司馬 遼太郎	峠 下(新潮文庫)	新潮社	1975	
A Nagakawa 0150	野口 三千三	原初生命体としての人間 — 野口体操の理論(同時代ライブラリー)	岩波書店	1996	
A Nagakawa 0151	遠藤 周作	侍(新潮文庫)	新潮社	1986	
A Nagakawa 0152	立花 隆	同時代を撃つ — 情報ウオッチング(3)(講談社文庫)	講談社	1992	
A Nagakawa 0153	川島 重成	ギリシア旅行案内(同時代ライブラリー)	岩波書店	1995	線引き
A Nagakawa 0154	北山 茂夫	万葉群像(岩波新書)	岩波書店	1980	
A Nagakawa 0155	W・H・ハドソン	緑の館 — 熱帯林のロマンス(岩波文庫)	岩波書店	1990	
A Nagakawa 0156	シェイクスピア	ハムレット(集英社文庫)	集英社	1998	副本 0133
A Nagakawa 0157	池上 俊一	魔女と聖女 ヨーロッパ中・近世の女たち(講談社現代新書)	講談社	1992	

放浪の王子の図書館  
—セビーリャ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0158	馬杉 宗夫	大聖堂のコスモロジー — 中世の聖なる空間を読む(講談社現代新書)	講談社	1992	
A Nagakawa 0159	陳 舜臣	美味方丈記(中公文庫)	中央公論社	1984	
A Nagakawa 0160	開高 健	日本人の遊び場(集英社文庫)	集英社	1984	
A Nagakawa 0161	市川 健夫	ブナ帯と日本人(講談社現代新書)	講談社	1987	
A Nagakawa 0162	松田 毅一	フロイスの日本覚書 — 日本とヨーロッパの風習の違い(中公新書)	中央公論社	1983	
A Nagakawa 0163	生田 滋	大航海時代とモルッカ諸島 — ポルトガル、スペイン、テルナテ王国と丁字貿易(中公新書)	中央公論社	1998	
A Nagakawa 0164	上山 春平	照葉樹林文化 — 日本文化の深層(中公新書)	中央公論新社	1969	
A Nagakawa 0165	小池 滋	英国流立身出世と教育(岩波新書)	岩波書店	1992	副本 0033
A Nagakawa 0166	石川 文洋	戦場カメラマン(朝日文庫)	朝日新聞社	1986	
A Nagakawa 0167	丸谷 才一	裏声で歌へ君が代	新潮社	1982	
A Nagakawa 0168	江藤 淳	昭和の文人	新潮社	1989	
A Nagakawa 0169	佐藤 綾子	自分をぶつけて生きてみよう — 力いっぱい愛すること、人生をより充実させること	三笠書房	1993	
A Nagakawa 0170	丸谷 才一	ジェイムズ・ジョイス(現代作家論)	早川書房	1992	付箋
A Nagakawa 0171	石島 晴夫	スペイン無敵艦隊	原書房	1981	
A Nagakawa 0172	中野 孝次	清貧の思想	草思社	1992	副本 2868
A Nagakawa 0173	皆川 博子	骨笛	集英社	1993	
A Nagakawa 0174	新藤 兼人	ボケ老人と野良ネコチャー君の対話	新潮社	1996	
A Nagakawa 0175	倉塚 平	ユートピアと性 — オナイダ・コミュニティの複合婚実験(中公叢書)	中央公論社	1990	
A Nagakawa 0176	G・ダウニー	地中海都市の興亡 — アンティオキア千年の歴史(新潮選書)	新潮社	1986	
A Nagakawa 0177	玉村 豊男	ロンドン 旅の雑学ノート(新潮文庫)	新潮社	1983	
A Nagakawa 0178	下宮 忠雄	ドイツ語語源小辞典(同学社小辞典シリーズ)	同学社	1992	
A Nagakawa 0179	安藤 まさ子	胸騒ぎのスペイン(新コンパクト・シリーズ)	日本放送出版協会	1991	
A Nagakawa 0180	千葉 敦子	「死への準備」日記	朝日新聞社	1987	
A Nagakawa 0181	吉村 昭	法師蟬	新潮社	1993	
A Nagakawa 0182	田中 康夫	ぼくたちの時代	太田出版	1986	
A Nagakawa 0183	遠藤 環子	青山『ロブロイ』物語 — 安部譲二と暮らした七年間 環子と譲二とジャズ	世界文化社	1987	
A Nagakawa 0184	川成 洋	スペイン戦争 — ジャック白井と国際旅団(朝日選書)	朝日新聞社	1989	
A Nagakawa 0185	M・バルガス・リョサ	継母礼讃(モダン・ノヴェラ)	福武書店	1993	
A Nagakawa 0186	川成 洋、渡部 哲郎編	スペイン讃歌	春秋社	1992	
A Nagakawa 0187	朴 炳植	日本語の悲劇	情報センター出版局	1986	線引き

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0188	川成 洋	幻のオリンピック(ちくまプリマーブックス)	筑摩書房	1992	
A Nagakawa 0189	「地球の歩き方」編集室	スペイン留学('96～'97版)(地球の歩き方 成功する留学)	ダイヤモンドビッグ社	1995	
A Nagakawa 0190	日本聖書刊行会	新約聖書	日本聖書刊行会	1987	副本 0238
A Nagakawa 0191	丸谷 才一	女ざかり	文藝春秋	1993	
A Nagakawa 0192	堀田 善衛	バルセローナにて	集英社	1989	
A Nagakawa 0193	原田 康子	聖母の鏡	新潮社	1997	
A Nagakawa 0194	瀬戸内 寂聴	白道	講談社	1995	
A Nagakawa 0195	大野 晋編	岩波古語辞典	岩波書店	1988	
A Nagakawa 0196	馳 星周	不夜城	角川書店	1996	
A Nagakawa 0197	ミュリエル・スパーク	死を忘れるな	白水社	1990	書き込み
A Nagakawa 0198	J・H・エリオット	リシュリュエとオリバーレス —17世紀ヨーロッパの抗争	岩波書店	1988	
A Nagakawa 0199	塩野 七生	わが友マキアヴェッリ —フィレンツェ存亡	中央公論社	1987	
A Nagakawa 0200	一川 周史	冠詞抜きでフランス語はわからない — 例文比較による徹底解説	駿河台出版社	1989	
A Nagakawa 0201	佐原 真	日本人の誕生(大系 日本の歴史1)	小学館	1989	
A Nagakawa 0202	和田 萃	古墳の時代(大系 日本の歴史2)	小学館	1989	
A Nagakawa 0203	吉田 孝	古代国家の歩み(大系日本の歴史3)	小学館	1989	
A Nagakawa 0204	棚橋 光男	王朝の社会(大系 日本の歴史4)	小学館	1989	
A Nagakawa 0205	五味 文彦	鎌倉と京(大系 日本の歴史5)	小学館	1989	
A Nagakawa 0206	永原 慶二	内乱と民衆の世紀(大系 日本の歴史6)	小学館	1989	
A Nagakawa 0207	脇田 晴子	戦国大名(大系 日本の歴史7)	小学館	1989	
A Nagakawa 0208	深谷 克己	士農工商の世(大系 日本の歴史9)	小学館	1989	
A Nagakawa 0209	竹内 誠	江戸と大坂(大系 日本の歴史10)	小学館	1989	
A Nagakawa 0210	青木 美智男	近代の予兆(大系 日本の歴史11)	小学館	1989	
A Nagakawa 0211	石井 寛治	開国と維新(大系 日本の歴史12)	小学館	1989	
A Nagakawa 0212	坂野 潤治	近代日本の出発(大系 日本の歴史13)	小学館	1989	
A Nagakawa 0213	江口 圭一	二つの大戦(大系 日本の歴史14)	小学館	1989	
A Nagakawa 0214	藤原 彰	世界の中の日本(大系 日本の歴史15)	小学館	1989	
A Nagakawa 0217	森岡 健二、川端善明、星野 晃一、徳川 宗賢、中村 明編	集英社 国語辞典	集英社	1993	
A Nagakawa 0218	アミン・マアラーフ	アラブが見た十字軍	リポート	1986	
A Nagakawa 0219	エドワード・W・サイド	イスラム報道 — ニュースはいかにつくられるか	みすず書房	1993	
A Nagakawa 0220	マイケル・クーパー	通辞ロドリゲス — 南蛮の冒険者と大航海時代の日本・中国	原書房	1991	
A Nagakawa 0221	田中 美知太郎	哲学談議とその逸脱(新潮選書)	新潮社	1986	



放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0222	松谷 健二	ヴァンダル興亡史 — 地中海制覇の夢	白水社	1995	線引き
A Nagakawa 0223	堀田 善衛	日々の過ぎ方 — ヨーロッパさまざま	新潮社	1984	
A Nagakawa 0224	野々山 真輝帆	スペインの紅いバラ — フランコからフェリーペへ	白水社	1984	
A Nagakawa 0225	大野 晋、丸谷 才一	光る源氏の物語〈上〉	中央公論社	1989	
A Nagakawa 0226	中岡 哲郎	メキシコと日本の間で — 周辺の旅から	岩波書店	1986	
A Nagakawa 0227	丸谷 才一	忠臣蔵とは何か	講談社	1984	
A Nagakawa 0228	丸谷 才一	男ごころ	新潮社	1989	
A Nagakawa 0229	永井 浩	見えないアジアを報道する	晶文社	1986	
A Nagakawa 0230	小島 千加子	作家の風景	毎日新聞社	1990	副本 0056, 0057
A Nagakawa 0231	司馬 遼太郎	草原の記	新潮社	1992	
A Nagakawa 0232	リシャルト・カプシチンスキー	皇帝ハイレ・セラシエ — エチオピア帝国最後の日々	筑摩書房	1986	
A Nagakawa 0233	中嶋 嶺雄	中ソ同盟の衝撃 — 日本の安全と経済はどうなるか(カッパ・ビジネス)	光文社	1982	書き込み
A Nagakawa 0234	辻 仁成	海峡の光	新潮社	1997	
A Nagakawa 0235	マリオ・バルガス・リョサ	密林の語り部(新潮・現代世界の文学)	新潮社	1987	
A Nagakawa 0236	J・R・ヒメネス	詩画集 プラテロとわたし	中央法規出版	1987	
A Nagakawa 0237	高階 秀爾	近代絵画史 — ゴヤからモンドリアンまで(上)(中公新書)	中央公論新社	2000	
A Nagakawa 0238		新約聖書	日本聖書刊行会	1987	副本 0190
A Nagakawa 0239	M・G・ゴメス・アレマン	ハーブ健康法 — スペイン・アンダルシア発(ウェルネスブック)	求龍堂	1994	
A Nagakawa 0240	安東 次男	花笈	思潮社	1992	
A Nagakawa 0241	ノルベルト・オーラー	中世の旅(叢書・ユニベルシタス)	法政大学出版局	1989	線引き
A Nagakawa 0242	那谷 敏郎	十三世紀の西方見聞録(新潮選書)	新潮社	1993	
A Nagakawa 0243	クリストファー・ブルック	中世社会の構造(りぶらりあ選書)	法政大学出版局	1990	
A Nagakawa 0244	森本 哲郎編	情熱の光 哀愁の影 — スペイン(世界知の旅)	小学館	1986	Yuriko Sawano 蔵書印
A Nagakawa 0245	陳 舜臣	イスタンブール(世界の都市の物語)	文藝春秋	1992	
A Nagakawa 0246	シュテファン・ツヴェイク	未来の国ブラジル	河出書房新社	1993	
A Nagakawa 0247	堺屋 太一	現代を見る歴史	プレジデント社	1987	
A Nagakawa 0248	松田 毅一	日欧のかけはし — 南蛮学の窓から	思文閣出版	1990	
A Nagakawa 0249	レイチェル・バード	ナバラ王国の歴史 — 山の民バスク民族の国	彩流社	1995	
A Nagakawa 0250	木下 順二	生きることと創ること — 演劇問答	人文書院	1994	
A Nagakawa 0251	佐賀 純一	浅草博徒一代 — 伊地知栄治のはなし	筑摩書房	1989	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0252	安引 宏	カルカッタ大全	人文書院	1989	
A Nagakawa 0253	近藤 紘一	妻と娘の国へ行った特派員	文藝春秋	1986	
A Nagakawa 0254	堺屋 太一	日本とは何か	講談社	1991	
A Nagakawa 0255	川成 洋	青春のスペイン戦争 — ケンブリッジ大学の義勇兵たち(中公新書)	中央公論社	1985	
A Nagakawa 0256	中村 真一郎	愛と美と文学 — わが回想(岩波新書)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 0257	北村 富治	『ユリシリーズ』案内 — 丸谷オー・誤訳の研究	宝島社	1994	
A Nagakawa 0258	I・ウォーラーステイン	資本主義世界経済 2 階級・エスニシティの不平等、国際政治	名古屋大学出版会	1987	書き込み
A Nagakawa 0259	塩野 七生	コンスタンティノープルの陥落	新潮社	1983	
A Nagakawa 0260	池澤 夏樹	ブッキッシュな世界像	白水社	1983	
A Nagakawa 0261	石井 崇	スペイン四季暦(春・夏)	東京書籍	1992	
A Nagakawa 0262	石井 崇	スペイン四季暦(秋・冬)	東京書籍	1992	
A Nagakawa 0263	大野 晋	類語国語辞典	角川書店	1985	
A Nagakawa 0264	小島 剛一	トルコのもう一つの顔(中公新書)	中央公論社	1996	
A Nagakawa 0265	井上 ひさし	泣き虫なまいき石川啄木	新潮社	1986	
A Nagakawa 0266	永川 玲二	ことばの政治学(同時代ライブラリー)	岩波書店	1995	
A Nagakawa 0267	永川 玲二	アンダルシア風土記	岩波書店	1999	副本 1467
A Nagakawa 0268	長部 日出雄	密使 支倉常長(上)	読売新聞社	1985	
A Nagakawa 0269	シモン・ヴィーゼンタール	希望の帆 — コロンブスの夢 ユダヤ人の夢	新曜社	1992	
A Nagakawa 0270	児玉 善仁	ヴェネツィアの放浪教師 — 中世都市と学校の誕生	平凡社	1993	
A Nagakawa 0271	有本 紀明	スペイン・聖と俗(NHK ブックス)	日本放送出版協会	1983	
A Nagakawa 0272	ロマン・ロラン	ロマン・ロラン全集(42) 書簡 10	みすず書房	1982	
A Nagakawa 0273	日本文芸家協会編	文学(1989)	講談社	1989	
A Nagakawa 0274	ロマン・ロラン	ロマン・ロラン全集(31) 日記 6	みすず書房	1982	
A Nagakawa 0275	陳 舜臣	陳舜臣全集(第8巻) 小説マルコ・ポーロ・珊瑚の枕	講談社	1986	
A Nagakawa 0276	染田 秀藤	アンデスの記録者 ワマン・ボマー インディオが描いた「真実」	平凡社	1992	
A Nagakawa 0277	広瀬 隆	赤い楯 — ロスチャイルドの謎(下)	集英社	1991	
A Nagakawa 0278	小林 信彦	ぼくたちの好きな戦争	新潮社	1986	
A Nagakawa 0279		東京都区分地図帖(キャピタル)	東京地図出版	1993	
A Nagakawa 0280	広瀬 隆	赤い楯 — ロスチャイルドの謎(上)	集英社	1991	
A Nagakawa 0281	網野 善彦	日本社会の歴史(上)(岩波新書)	岩波書店	1997	
A Nagakawa 0282	井上 清	日本の歴史(中)(岩波新書)	岩波書店	1995	
A Nagakawa 0283	金田一 京助編	学習国語新辞典	小学館	1993	副本 0284
A Nagakawa 0284	金田一 京助編	学習国語新辞典	小学館	1991	副本 0283

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 0285	石井 洋子	オリープ畑に天使がおりて	中央法規出版	1990	
A Nagakawa 0287	ジャック・ルゴフ	中世の夢	名古屋大学出版会	1992	
A Nagakawa 0288	長沼 直兄	Characters for Daily Use	長風社	1972	
A Nagakawa 0289	池田 廉	小学館伊和中辞典	小学館	1983	副本 0775
A Nagakawa 0290	梅棹 忠夫、金田一春彦、阪倉 篤義、日野原 重明監修	日本語大辞典	講談社	1989	
A Nagakawa 0291	豊田 豊子編	よく使われる新聞の漢字と熟語	凡人社	1981	
A Nagakawa 0292	早川 東三	NHK ドイツ語入門	NHK 出版	1979	ドイツ語タイトルで登録
A Nagakawa 0293	小林 秀雄	私の人生観(角川文庫)	角川書店	1989	スペイン語訳タイトルで登録
A Nagakawa 0294	司馬 遼太郎	北斗の人(角川文庫)	角川書店	1979	スペイン語訳タイトルで登録
A Nagakawa 0295	文藝春秋	教養人の世界史 上 古代(現代教養文庫)	社会思想社	1988	線引き、スペイン語訳タイトルで登録、スペイン語訳出版社情報で登録
A Nagakawa 0567	Peter Milward	The mystery of words	南雲堂	1980	英語教材
A Nagakawa 0586	Embajada de España	El español en Japón: encuesta de universidades	Embajada de España	1985	
A Nagakawa 0775	池田 廉	小学館伊和中辞典	小学館	1983	副本 0289
A Nagakawa 0776	宮城 昇、山田 善郎編	現代スペイン語辞典	白水社	1991	
A Nagakawa 1467	永川 玲二	アンダルシア風土記	岩波書店	1999	副本 0267
A Nagakawa 1566	岩崎 民平、小稲 義男監修	新英和中辞典	研究社	1977	
A Nagakawa 1731	日鉄ヒューマンデベロプメント	日本 — その姿と心(和英対照) — NIPPON The Land and Its People	學生社	1982	
A Nagakawa 2007	岩崎 民平ほか編	研究社新英和大辞典	研究社	1960	
A Nagakawa 2009	小西 友七ほか編	小学館ランダムハウス英和大辞典	小学館	1994	
A Nagakawa 2051	下位 英一、坂本 鉄男編	イタリア語小辞典	大学書林	1962	
A Nagakawa 2054	William Shakespeare	マクベス(The Kenkyusha Shakespeare)	研究社出版	1967	
A Nagakawa 2082	勝俣 銓吉郎編	新和英大辞典	研究社	1954	
A Nagakawa 2269	小林 龍雄	フランスのことわざ	大学書林	1960	
A Nagakawa 2270	高橋 久	イタリア語文法入門	大学書林	1958	
A Nagakawa 2274	鈴木 信太郎ほか	スタンダード和佛辞典	大修館書店	1972	
A Nagakawa 2275	鈴木 信太郎ほか	スタンダード仏和辞典	大修館書店	1973	

富田 広 樹

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 2343	宮城 昇ほか編	和西辞典	白水社	1990	
A Nagakawa 2852	文藝春秋編	「文藝春秋」にみる昭和史(第1巻)	文藝春秋	1988	
A Nagakawa 2853	大野 晋、丸谷オ一	光る源氏の物語(下)	中央公論社	1989	
A Nagakawa 2854	長部 日出雄	密使 支倉常長(下)	読売新聞社	1985	
A Nagakawa 2855	鎌田 正、米山寅太郎	特装大型版 漢語林	大修館書店	1987	
A Nagakawa 2856	川村 二郎ほか編	イギリス(1)/集英社ギャラリー「世界の文学」(2)	集英社	1991	
A Nagakawa 2857	川村 二郎ほか編	イギリス(2)/集英社ギャラリー「世界の文学」(3)	集英社	1991	
A Nagakawa 2858	マルセル・ブルースト	失われた時を求めて(1) 第一篇 スワン家の方へ(1)	集英社	1996	
A Nagakawa 2859	アルフレード・ブライス=エチエニケ	幾たびもベドロ(ラテンアメリカの文学)	集英社	1983	
A Nagakawa 2860	ハンス・クリスチャン アンデルセン	スペイン紀行(アンデルセン小説・紀行文文学全集)	東京書籍	1986	
A Nagakawa 2861	本田 實信	世界の歴史—ビジュアル版(6) イスラム世界の発展	講談社	1985	
A Nagakawa 2862	ピエール・グベール	歴史人口学序説—17・18世紀ポーヴェ地方の人口動態構造(NEW HISTORY)	岩波書店	1992	
A Nagakawa 2863	丸谷 オ一	青い雨傘	文藝春秋	1995	
A Nagakawa 2864	丸谷 オ一	桜もさよならも日本語	新潮社	1986	
A Nagakawa 2865	伊藤 太吾	スペイン語からカタルーニア語へ	大学書林	1992	
A Nagakawa 2866	宮下 志朗	本の都市リヨン	晶文社	1989	
A Nagakawa 2867	木村 彰一編	博友社ロシア語辞典	博友社	1975	
A Nagakawa 2868	中野 孝次	清貧の思想	草思社	1992	副本 0172
A Nagakawa 2869	網野 善彦	日本社会の歴史(中)(岩波新書)	岩波書店	1997	
A Nagakawa 2870	黒川 博行	キャッツアイころがった(文春文庫)	文藝春秋	1989	
A Nagakawa 2871	白石 一郎	風雲児(下)(文春文庫)	文藝春秋	1998	
A Nagakawa 2872	東山 魁夷	白夜の旅(新潮文庫)	新潮社	1980	
A Nagakawa 2873	F・W・クロフツ	樽(創元推理文庫)	東京創元社	1965	
A Nagakawa 2874	城山 三郎	望郷のとき—侍・イン・メキシコ(文春文庫)	文藝春秋	1989	
A Nagakawa 2875	新井 素子	あなたにここにいて欲しい(講談社文庫)	講談社	1987	
A Nagakawa 2876	司馬 遼太郎	菜の花の沖(6)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 2877	司馬 遼太郎	菜の花の沖(2)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 2878	司馬 遼太郎	菜の花の沖(3)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 2879	クイーン	Yの悲劇(新潮文庫)	新潮社	1987	
A Nagakawa 2880	川成 洋	スペイン通信—自由への闘い(異文化を知る一冊)	三修社	1986	
A Nagakawa 2881	アガサ・クリステイー	ポアロのクリスマス(ハヤカワ・ミステリ文庫)	早川書房	1976	
A Nagakawa 2882	飯島 正	メキシコのマリンチェ	晶文社	1980	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 2883	松田 毅一	西洋との出会い 上 — 南蛮太閤記(朝日カルチャーボックス)	大阪書籍	1982	
A Nagakawa 2884	松田 毅一	西洋との出会い 下 — 南蛮太閤記(朝日カルチャーボックス)	大阪書籍	1982	
A Nagakawa 2885	原 誠編	スペインハンドブック	三省堂	1990	
A Nagakawa 2886	安木 広明	西アフリカ 440 日 — サハラを越えマグレブをぬける	あむかす事務局	1983	
A Nagakawa 2887	M・ケアリー、E・ウォーミントン	古代の旅行者	大陸書房	1972	
A Nagakawa 2888	村上 義次	胃腸病の治療と食事(家庭の医学シリーズ)	小学館	1974	
A Nagakawa 2889	結城 了悟	ローマを見た — 天正少年使節	日本二十六聖人記念館	1982	
A Nagakawa 2890	シュリーマン、コックレル、カーター、ツェーラム	トロイアへの道 迷宮の発掘 ツタンカーメン発掘記 神・墓・学者	筑摩書房	1978	
A Nagakawa 2891	渡辺 照宏	仏教を知るために — 仏教入門随想集	大法輪閣	1980	
A Nagakawa 2892	ギヨーム・アポリネール	一万一千本の鞭	富士見書房	1972	
A Nagakawa 2893	大学書林編集部編	伊太利語基礎 1500 語	大学書林	1960	
A Nagakawa 2894	橋口 倫介	人間の世界歴史(5) 中世のコンスタンティノーブル	三省堂	1982	
A Nagakawa 2895	福森 信夫	数学 1 年	新興出版社啓林館	1996	
A Nagakawa 2896	安東 次男	花づとめ	読売新聞社	1974	
A Nagakawa 2897	石原 保徳	インディアスの発見 — ラス・カサスを読む	田畑書店	1980	
A Nagakawa 2898	倉塚 平	白智鳥 回想の倉塚暉子	倉塚平(非売品)	1986	
A Nagakawa 2899		鯉城台外史	広幼社	1996	
A Nagakawa 2900	61 期生会記念誌編集委員会編	最後の将校生徒 復員四十周年記念誌	陸士 61 期生会	1985	
A Nagakawa 2901		歴史批判 モダン・プラクシス 3 号	歴史批判発刊会	1986	
A Nagakawa 2902	ドリス・レッシング	黄金のノート	英雄社	1983	
A Nagakawa 2903	樋口 清之監修	日本人の「言い伝え」ものしり辞典	大和出版	1981	
A Nagakawa 2904	サント・ブーブ	ブルードン(古典文庫)	現代思潮社	1974	
A Nagakawa 2905	井上 幸治編	南欧史(世界各国史 5)	山川出版社	1973	
A Nagakawa 2906	角田 文衛編	北欧史(世界各国史 6)	山川出版社	1987	
A Nagakawa 2907	矢田 俊隆編	東欧史(世界各国史 13)	山川出版社	1973	
A Nagakawa 2908	岩生 成一	日本の歴史(14) 鎖国(中公バックス)	中央公論社	1984	
A Nagakawa 2909	チャップリン、ロモラ・ニジンスキー、シュリーマン	私の駆出し時代 神との結婚 トロイアへの道	筑摩書房	1972	
A Nagakawa 2910	岩村 忍	人類文化史(3) 西アジアとインドの文明	講談社	1973	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 2911	堀 英四郎、アーネスト・ピカリング、エイ・エス・ホーンビー	改訂新版 正しい英語会話	大修館書店	1968	
A Nagakawa 2912	岩間 徹編	ロシア史(世界各国史(4))	山川出版社	1962	
A Nagakawa 2913	今来 陸郎編	中欧史	山川出版社	1963	
A Nagakawa 2914	ルイス・フロイス	フロイス日本史(2) 豊臣秀吉篇	中央公論社	1981	
A Nagakawa 2915	ウィリアム・シェイクスピア	シェイクスピア全集 7 悲劇	筑摩書房	1967	
A Nagakawa 2916	E・ウィリアムズ	コロンブスからカストロまで I—カリブ海域史, 1492-1969	岩波書店	1978	
A Nagakawa 2917	E・ウィリアムズ	コロンブスからカストロまで II—カリブ海域史, 1492-1969	岩波書店	1978	
A Nagakawa 2918		欧文見本帳 付和文見本	東洋印刷		
A Nagakawa 2919	コンラッド	新集世界の文学 24 コンラッド	中央公論社	1971	
A Nagakawa 2920	ジョイス	新集世界の文学 30 ジョイス	中央公論社	1972	
A Nagakawa 2921	クノー、ベケット	新集世界の文学 43 クノー ベケット	中央公論社	1970	
A Nagakawa 2922	モンタネッリ、ジェルヴァーン	ルネサンスの歴史(下) 反宗教改革のイタリア	中央公論社	1982	
A Nagakawa 2923		中央公論 1996年9月号	中央公論社	1996	
A Nagakawa 2924	ベルナルド・ベロー	いりふねバリガイド	草思社	1976	
A Nagakawa 2925	村川 堅太郎	世界史小辞典	山川出版社	1987	
A Nagakawa 2926	長崎大学外国人留学生指導センター	長崎大学外国人留学生指導センター紀要	長崎大学外国人留学生指導センター	1996	
A Nagakawa 2927		Ahora 1987年夏号	夢の企画社	1987	
A Nagakawa 2928		Ahora 1988年秋号	夢の企画社	1988	
A Nagakawa 2929		Ahora 1989年秋号	夢の企画社	1989	
A Nagakawa 2930	ウィリアム・シェイクスピア	世界文学全集 第3巻 沙翁傑作集	新潮社	1929	
A Nagakawa 2931	司馬 遼太郎	翔ぶが如く(2) (文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2932	司馬 遼太郎	翔ぶが如く(3) (文春文庫)	文藝春秋	1981	
A Nagakawa 2933	司馬 遼太郎	翔ぶが如く(4) (文春文庫)	文藝春秋	1976	
A Nagakawa 2934	平凡社世界歴史事典編集部編	世界歴史事典(第6巻)	平凡社	1956	
A Nagakawa 2935		言語 1985年1月号	大修館書店	1985	
A Nagakawa 2936	カミュ	カミュ全集(2) 異邦人・シーシュポスの神話	新潮社	1974	
A Nagakawa 2937	小林 清治	伊達政宗(人物叢書)	吉川弘文館	1959	
A Nagakawa 2938	外山 幹夫	大友宗麟(人物叢書)	吉川弘文館	1975	
A Nagakawa 2939	オドリコ	東洋旅行記—カタイ(中国)への道	桃源社	1966	
A Nagakawa 2940	ダンテ	世界文学全集(2) ダンテ 神曲	集英社	1980	
A Nagakawa 2941	辻井 重	ヨーロッパ・ユース・ホステルの旅	実業之日本社	1971	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 2942	Andou Kouko	Sasamegoto	Fujisho	1979	書誌情報不明、副本2943
A Nagakawa 2943	Andou Kouko	Sasamegoto	Fujisho	1979	書誌情報不明、副本2942
A Nagakawa 2944	柳田 国男	新編新しい国語	東京書籍	1958	教科書、学年不明
A Nagakawa 2945	国際学友会日本語学校編	日本語読本 日本語学習書1	国際学友会	1974	
A Nagakawa 2946	国際学友会日本語学校編	日本語読本 日本語学習書2	国際学友会	1971	
A Nagakawa 2947	国際学友会日本語学校編	日本語読本 日本語学習書3	国際学友会	1961	
A Nagakawa 2948	国際学友会日本語学校編	よみかた 日本語学習書	国際学友会	1976	
A Nagakawa 2949	国際学友会日本語学校編	練習帳 録音教材よみかた	国際学友会	1974	
A Nagakawa 2950	マルコ・ポーロ	東方見聞録(1)(東洋文庫)	平凡社	1982	
A Nagakawa 2951	マルコ・ポーロ	東方見聞録(2)(東洋文庫)	平凡社	1982	
A Nagakawa 2952	前嶋 信次	世界の歴史(8) イスラム世界(河出文庫)	河出書房新社	1980	
A Nagakawa 2953	羽田 明ほか	世界の歴史(10) 西域(河出文庫)	河出書房新社	1981	
A Nagakawa 2954	愛宕 松男	世界の歴史(11) アジアの征服王朝(河出文庫)	河出書房新社	1974	
A Nagakawa 2955	岸本 通夫	世界の歴史(2) 古代オリエント	河出書房新社	1968	
A Nagakawa 2956	鯖田 豊之	世界の歴史(9) ヨーロッパ中世	河出書房新社	1969	
A Nagakawa 2957	黒田 礼二	街道のブライアンまたはマジックバスの話	筑摩書房	1983	
A Nagakawa 2958	ジョージ・オーウェル	カタロニア讃歌	筑摩書房	1979	
A Nagakawa 2959	白井 吉見編	日本短篇文学全集第16巻 永井荷風 石川淳 大江健三郎	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2960	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第31巻 小林多喜二 宮本百合子 佐多稲子	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2961	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第32巻 大仏次郎 獅子文六 尾崎士郎 海音寺潮五郎 今日出海	筑摩書房	1970	
A Nagakawa 2962	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第33巻 横光利一 伊藤整 稲垣足穂	筑摩書房	1970	
A Nagakawa 2963	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第37巻 平林たい子 円地文子 有吉佐和子	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2964	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第38巻 岡本かの子 武田泰淳 水上勉	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2965	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第39巻 武田麟太郎 林芙美子 織田作之助	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2966	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第40巻 芹沢光治良 阿部知二 中山義秀 梅崎春生	筑摩書房	1968	
A Nagakawa 2967	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第42巻 丹羽文雄 今東光 井上友一郎 田村泰次郎	筑摩書房	1969	
A Nagakawa 2968	白井 吉見編	日本短篇文学全集 第46巻 北原武夫 田中英光 原民喜 三浦朱門 井上光晴 石原慎太郎	筑摩書房	1969	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 2969	臼井 吉見編	日本短篇文学全集 第47巻 大岡昇平 有馬頼義 小島信夫 開高健	筑摩書房	1969	
A Nagakawa 2970	駒田 信二	中国怪奇物語(幽霊編)(講談社文庫)	講談社	1982	
A Nagakawa 2971	大原 富枝	建礼門院右京大夫(講談社文庫)	講談社	1986	
A Nagakawa 2972	羽仁 五郎	自伝的戦後史(上)(講談社文庫)	講談社	1978	
A Nagakawa 2973	羽仁 五郎	自伝的戦後史(下)(講談社文庫)	講談社	1984	
A Nagakawa 2974	遠藤 周作	白い人・黄色い人ほか二編(講談社文庫)	講談社	1981	
A Nagakawa 2975	五木 寛之、野坂 昭如	対論(講談社文庫)	講談社	1974	
A Nagakawa 2976	江藤 淳	一族再会 第1部(講談社文庫)	講談社	1976	
A Nagakawa 2977	加賀 乙彦	頭医者事始(講談社文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 2978	石毛 直道	リビア砂漠探検記(講談社文庫)	講談社	1981	
A Nagakawa 2979	金田一 京助	日本語の変遷(講談社学術文庫)	講談社	1977	
A Nagakawa 2980	堀米 庸三	中世の光と影 上(講談社学術文庫)	講談社	1978	
A Nagakawa 2981	堀米 庸三	中世の光と影 下(講談社学術文庫)	講談社	1978	
A Nagakawa 2982	川本 茂雄編	英和辞典(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 2983	桑原 博史	西行物語(講談社学術文庫)	講談社	1981	
A Nagakawa 2984	大出 晃	日本語と論理 — その有効な表現法(講談社現代新書)	講談社	1975	
A Nagakawa 2985	岡本 太郎	日本の伝統	講談社	1980	
A Nagakawa 2986	織田 武雄	地図の歴史 世界篇	講談社	1981	
A Nagakawa 2987	J・ソペーニャ	スペイン — フランコの四〇年(講談社現代新書)	講談社	1977	副本 3524
A Nagakawa 2988	水野 祐	日本人の歴史(講談社現代新書)	講談社	1983	
A Nagakawa 2989	グレゴリー・クラーク	ユニークな日本人(講談社現代新書)	講談社	1981	
A Nagakawa 2990	司馬 遼太郎	竜馬がゆく(3)(文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2991	司馬 遼太郎	竜馬がゆく(4)(文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2992	司馬 遼太郎	竜馬がゆく(5)(文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2993	司馬 遼太郎	竜馬がゆく(8)(文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2994	司馬 遼太郎	歴史を紀行する(文春文庫)	文藝春秋	1981	
A Nagakawa 2995	司馬 遼太郎	菜の花の沖(4)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 2996	司馬 遼太郎	菜の花の沖(5)(文春文庫)	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 2997	松本 清張	昭和史発掘	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 2998	五味川 純平	虚構の大義 — 関東軍私記(文春文庫)	文藝春秋	1974	
A Nagakawa 2999	児島 襄	天皇 5 帝国の終焉(文春文庫)	文藝春秋	1981	
A Nagakawa 3000	池田 彌三郎	話のたね(文春文庫)	文藝春秋	1979	
A Nagakawa 3001	井上 靖	読書と私 — 書下しエッセイ集(文春文庫)	文藝春秋	1980	
A Nagakawa 3002	文藝春秋編	読ませる話(文春文庫)	文藝春秋	1982	
A Nagakawa 3003	駒田 信二	中国故事はなしの話(文春文庫)	文藝春秋	1981	



放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲ニコレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3004	丸元 淑生	丸元淑生のシステム料理学 — 男と女のクッキング 8章 (文春文庫)	文藝春秋	1983	
A Nagakawa 3005	津田 左右吉	シナ思想と日本 (岩波新書)	岩波書店	1978	
A Nagakawa 3006	ジャック・ルゴフ	中世の知識人 — アペラールからエラスムスへ	岩波書店	1977	
A Nagakawa 3007	ブルーノ・タウト	日本美の再発見 増補改訂版 (岩波新書)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3008	川本 茂雄	ことばの色彩	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3009	吉田 洋一	零の発見 — 数学の生い立ち (岩波新書)	岩波書店	1973	副本 3010
A Nagakawa 3010	吉田 洋一	零の発見 — 数学の生い立ち (岩波新書)	岩波書店	1976	副本 3009
A Nagakawa 3011	大野 晋	日本語の文法を考える (岩波新書)	岩波書店	1984	
A Nagakawa 3012	青山 秀夫	マックス・ウェーバー — 基督教的ヒューマニズムと現代 (岩波新書)	岩波書店	1976	
A Nagakawa 3013	東 明雅	芭蕉の恋句 (岩波新書)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3014	寿岳 章子	日本語と女 (岩波新書)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3015	吉川 幸次郎、三好 達治	新唐詩選 (岩波新書)	岩波書店	1988	
A Nagakawa 3016	吉川 幸次郎、桑原 武夫	新唐詩選続篇 (岩波新書)	岩波書店	1989	
A Nagakawa 3017	高島 善哉	社会科学入門 — 新しい国民の見方考え方 (岩波新書)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3018	柳父 章	翻訳語成立事情 (岩波新書)	岩波書店	1982	
A Nagakawa 3019	クリストファー・ヒル	レーニンとロシア革命 (岩波新書)	岩波書店	1973	
A Nagakawa 3020	北島 宏泰編	ひとりひとりの戦争・広島	岩波書店	1987	
A Nagakawa 3021	泉 靖一	インカ帝国 — 砂漠と高山の文明 (岩波新書)	岩波書店	1959	
A Nagakawa 3022	G・ガルシア・マルケス	戒厳令下チリ潜入記 — ある映画監督の冒険 (岩波新書)	岩波書店	1987	
A Nagakawa 3023	武田 泰淳	政治家の文章 (岩波新書)	岩波書店	1974	
A Nagakawa 3024	貝塚 茂樹	諸子百家 — 中国古代の思想家たち (岩波新書)	岩波書店	1964	
A Nagakawa 3025	石田 保昭	インドで暮らす (岩波新書)	岩波書店	1964	
A Nagakawa 3026	小林 珍雄	法王庁	岩波書店	1966	
A Nagakawa 3027	辻 直四郎	インド文明の曙 — ヴェーダとウパニシャッド (岩波新書)	岩波書店	1978	
A Nagakawa 3028	秋山 虔	源氏物語 (岩波新書)	岩波書店	1983	
A Nagakawa 3029	小松 茂美	かな — その成立と変遷 (岩波新書)	岩波書店	1968	
A Nagakawa 3030	泉井 久之助	ヨーロッパの言語 (岩波新書)	岩波書店	1972	
A Nagakawa 3031	三上 次男	陶磁の道 — 東西文明の接点をたずねて (岩波新書)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3032	白川 静	漢字 — 生い立ちとその背景 (岩波新書)	岩波書店	1982	
A Nagakawa 3033	高階 秀爾	続 名画を見る眼 (岩波新書)	岩波書店	1990	
A Nagakawa 3034	市井 三郎	歴史の進歩とはなにか (岩波新書)	岩波書店	1931	
A Nagakawa 3035	宇賀田 為吉	タバコの歴史	岩波書店	1973	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3036	ルイス・ハンケ	アリストテレスとアメリカ	岩波書店	1974	
A Nagakawa 3037	大野 晋	日本語をさかのぼる(岩波新書)	岩波書店	1975	副本 3038, 3298
A Nagakawa 3038	大野 晋	日本語をさかのぼる(岩波新書)	岩波書店	1976	副本 3037, 3298
A Nagakawa 3039	小松 茂美	手紙の歴史	岩波書店	1976	
A Nagakawa 3040	吉田 兼好	徒然草(岩波文庫)	岩波書店	1978	
A Nagakawa 3041	ジョナサン・スウィフト	桶物語・書物戦争 他一篇(岩波文庫)	岩波書店	1977	
A Nagakawa 3042		ニーベルンゲンの歌〈前編〉(岩波文庫)	岩波書店	1980	
A Nagakawa 3043	セルバンテス	ドン・キホーテ〈後篇1〉(岩波文庫)	岩波書店	1978	
A Nagakawa 3044	ベッケル	緑の瞳/月影(岩波文庫)	岩波書店	1983	
A Nagakawa 3045	岡倉 覚三	茶の本(岩波文庫)	岩波書店	1981	
A Nagakawa 3046	袁 枚	随園食单(岩波文庫)	岩波書店	1980	
A Nagakawa 3047	ランケ	ランケ自伝(岩波文庫)	岩波書店	1982	
A Nagakawa 3048	ホグベン	洞窟絵画から連載漫画へー人間コミュニケーションの万華鏡(岩波文庫)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3049	東京日日新聞社会 部編	戊辰物語(岩波文庫)	岩波書店	1985	
A Nagakawa 3050	デイルタイ	世界観の研究(岩波文庫)	岩波書店	1982	
A Nagakawa 3051	シュヴァイツェル	水と原生林のはざままで(岩波文庫)	岩波書店	1980	
A Nagakawa 3052	フリードリッヒ・エ ンゲルス	家族・私有財産・国家の起源ールイス・H・ モーガンの研究に関連して(岩波文庫)	岩波書店	1949	
A Nagakawa 3053	マックス・ウェーバー	社会科学方法論(岩波文庫)	岩波書店	1963	
A Nagakawa 3054	アベラール	アベラールとエロイズー 愛と修道の手紙 (岩波文庫)	岩波書店	1964	
A Nagakawa 3055	ゲーテ	イタリア紀行 下(岩波文庫)	岩波書店	1966	
A Nagakawa 3056	スピノザ	エチカー 倫理学(下)(岩波文庫)	岩波書店	1970	
A Nagakawa 3057	ベディエ編	トリスタン・イズー物語(岩波文庫)	岩波書店	1954	
A Nagakawa 3058	レオナルド・ダ・ヴィ ンチ	レオナルド・ダ・ヴィンチの手記 上(岩波 文庫)	岩波書店	1972	
A Nagakawa 3059	チャールズ・ダーウ ィン	ビーグル号航海記 上(岩波文庫)	岩波書店	1965	
A Nagakawa 3060	町田 嘉章、浅野 建二編	日本民謡集(岩波文庫)	岩波書店	1960	
A Nagakawa 3061	モンテーニュ	エッセー 1(岩波文庫)	岩波書店	1965	
A Nagakawa 3062	トゥーキュディデ ース	戦史〈上〉(岩波文庫)	岩波書店	1971	
A Nagakawa 3063	トゥーキュディデ ース	戦史〈中〉(岩波文庫)	岩波書店	1971	
A Nagakawa 3064	トゥーキュディデ ース	戦史〈下〉(岩波文庫)	岩波書店	1971	
A Nagakawa 3065	林 健太郎	ワイマル共和国ーヒトラーを出現させた もの(中公新書)	中央公論新社	1979	
A Nagakawa 3066	岸井 良衛	東海道五十三次ー百二十五里・十三日の 道中(中公新書)	中央公論新社	1976	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3067	旗田 巍	元寇 — 蒙古帝国の内部事情 (中公新書)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3068	梅原 猛	地獄の思想 — 日本精神の一系譜 (中公新書)	中央公論新社	1973	
A Nagakawa 3069	増田 義郎	メキシコ革命 — 近代化のたたかい (中公新書)	中央公論新社	1976	
A Nagakawa 3070	才神 時雄	松山収容所 — 捕虜と日本人 (中公新書)	中央公論新社	1969	
A Nagakawa 3071	梅棹 忠夫、永井道雄編	私の外国語 (中公新書)	中央公論新社	1970	
A Nagakawa 3072	石光 真人編	ある明治人の記録 — 会津人柴五郎の遺書 (中公新書)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 3073	平野 敬一	マザー・グースの唄 — イギリスの伝承童謡 (中公新書)	中央公論新社	1979	
A Nagakawa 3074	大岡 昇平	コルシカ紀行 (中公新書)	中央公論新社	1972	
A Nagakawa 3075	林 知己夫	比較日本人論 — 日本とハワイの調査から (中公新書)	中央公論新社	1977	
A Nagakawa 3076	司馬 遼太郎、山崎正和	日本人の内と外 (中公新書)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 3077	金 両基	ハンゲルの世界 (中公新書)	中央公論社	1985	
A Nagakawa 3078	青木 康征	コロンブス — 大航海時代の起業家 (中公新書)	中央公論社	1989	
A Nagakawa 3079		老子 (中公文庫)	中央公論社	1977	
A Nagakawa 3080	司馬 遼太郎	歴史の中の日本 (中公文庫)	中央公論社	1976	
A Nagakawa 3081	堀米 庸三	世界の歴史(3) 中世ヨーロッパ(中公文庫)	中央公論新社	1977	
A Nagakawa 3082	中屋 健一	世界の歴史(11) 新大陸と太平洋 (中公文庫)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3083	梅棹 忠夫	文明の生態史観 (中公文庫)	中央公論社	1974	
A Nagakawa 3084	莊子	莊子 内篇 (中公文庫)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 3085	莊子	莊子 外篇 (中公文庫)	中央公論新社	1979	
A Nagakawa 3086	莊子	莊子 雑篇 (中公文庫)	中央公論新社	1979	
A Nagakawa 3087	増田 義郎	インカ帝国探検記 - ある文化の滅亡の歴史 (中公文庫)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3088	A・レシーノス	ボボル・ヴフ (中公文庫)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 3089	内田 百閒	御馳走帖 (中公文庫)	中央公論社	1979	
A Nagakawa 3090	生方 敏郎	明治大正見聞史 (中公文庫)	中央公論新社	1978	
A Nagakawa 3091	河上 徹太郎	吉田松陰 — 武と儒による人間像 (中公文庫)	中央公論新社	1979	
A Nagakawa 3092	植村 清二	万里の長城 — 中国小史 (中公文庫 BIBLIO)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3093	岡野 弘彦	海のまほろば (中公文庫)	中央公論新社	1980	
A Nagakawa 3094	オウエン・パーフィールド	英語のなかの歴史 (中公文庫)	中央公論新社	1980	
A Nagakawa 3095	金子 光晴	どくろ杯 (中公文庫)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3096	縮木 信太郎	パンの百科 (中公文庫)	中央公論新社	1980	
A Nagakawa 3097	金子 光晴	ねむれ巴里 (中公文庫)	中央公論新社	1976	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3098	林屋 辰三郎、梅棹 忠夫、山崎 正和編	日本史のしくみ — 変革と情報の史観(中 公文庫)	中央公論新社	1976	副本 3409
A Nagakawa 3099	金子 光晴、吉田 一穂、村野 四郎、 草野 心平	日本の詩歌(21) 金子光晴 吉田一穂 村 野四郎 草野心平(中公文庫)	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3100	林 茂	日本の歴史(25) 太平洋戦争(中公文庫)	中央公論新社	1987	
A Nagakawa 3101	堀田 善衛	審判(上)	集英社	1979	
A Nagakawa 3102	南条 範夫	古城物語(時代小説文庫)	集英社	1977	
A Nagakawa 3103	司馬 遼太郎	歴史と小説(集英社文庫)	集英社	1982	
A Nagakawa 3104	團 伊玖磨	又々パイプのけむり	朝日新聞社出 版局	1977	
A Nagakawa 3105	嘉治 隆一	天声人語 1 1945.9 ~ 1949.12(朝日文庫)	朝日新聞社出 版局	1981	
A Nagakawa 3106	司馬 遼太郎	街道をゆく	朝日新聞社	1979	巻数不明
A Nagakawa 3107	栄久庵 憲司	デザイン:技術と人間を結ぶもの	日本経済新聞 社	1972	
A Nagakawa 3108	梅溪 昇	お雇い外国人 — 明治日本の脇役たち	日本経済新聞 社	1965	
A Nagakawa 3109	千石 保	日本人の人間観 — 欧米人との違いをさぐ る	日本経済新聞 社	1975	
A Nagakawa 3110	モーリヤック	夜の終り(新潮文庫)	新潮社	1952	
A Nagakawa 3111	井伏 鱒二	駅前旅館(新潮文庫)	新潮社	1968	
A Nagakawa 3112	村野 四郎編	西脇順三郎詩集(新潮文庫)	新潮社	1969	
A Nagakawa 3113	岡本 かの子	巴里祭 河明り(新潮文庫)	新潮社	1970	
A Nagakawa 3114	サルトル	水いらず(新潮文庫)	新潮社	1985	
A Nagakawa 3115	司馬 遼太郎	城塞(上巻)(新潮文庫)	新潮社	1983	
A Nagakawa 3116	司馬 遼太郎	城塞(中巻)(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 3117	司馬 遼太郎	城塞(下巻)(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 3118	丸谷 オ一	日本語のために(新潮文庫)	新潮社	1979	
A Nagakawa 3119	丸谷 オ一	低空飛行(新潮文庫)	新潮社	1980	
A Nagakawa 3120	小澤 征爾	ボクの音楽武者修行(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 3121	宮本 輝	流転の海(新潮文庫)	新潮社	1991	
A Nagakawa 3122	シャルル・ジリヤール	スイス史(文庫クセジュ)	白水社	1954	
A Nagakawa 3123	V・L・ソーニエ	十六世紀フランス文学(文庫クセジュ)	白水社	1958	
A Nagakawa 3124	ユベール・デシャン	海賊(文庫クセジュ)	白水社	1967	
A Nagakawa 3125	ルイ・アンビス	アッチラとフン族(文庫クセジュ)	白水社	1977	
A Nagakawa 3126	アルベール・アラン・ ブルドン	ポルトガル史(文庫クセジュ)	白水社	1979	
A Nagakawa 3127	アンドレ・ジイド	地の糧(新潮文庫)	新潮社	1967	
A Nagakawa 3128	三島 由紀夫	盗賊(新潮文庫)	新潮社	1983	
A Nagakawa 3129	ジッド	狭き門(新潮文庫)	新潮社	1972	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3130	萩原 朔太郎	詩の原理(新潮文庫)	新潮社	1975	
A Nagakawa 3131	谷崎 潤一郎	細雪(上)(新潮文庫)	新潮社	1983	
A Nagakawa 3132	メリメ	カルメン(新潮文庫)	新潮社	1956	
A Nagakawa 3133	竹山 道雄	ビルマの豎琴(新潮文庫)	新潮社	1967	
A Nagakawa 3134	河上 徹太郎	日本のアウトサイダー(新潮文庫)	新潮社	1968	
A Nagakawa 3135	安部 公房	壁(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 3136	野上 弥生子	秀吉と利休(新潮文庫)	新潮社	1970	
A Nagakawa 3137	山本 周五郎	つゆのひぬま(新潮文庫)	新潮社	1977	
A Nagakawa 3138	木下 順二	暮しのことば	河出書房	1954	
A Nagakawa 3139	ベルグソン	夢について	河出書房	1954	
A Nagakawa 3140	フロイド	芸術論	河出書房	1954	
A Nagakawa 3141	富永 惣一	近代絵画(カラーブックス)	保育社	1976	
A Nagakawa 3142	山田 憲太郎	香料の歴史 — スパイスを中心に	紀伊国屋書店	1964	
A Nagakawa 3143	藤岡 大拙	山中鹿介紀行	山陰中央新報社	1980	
A Nagakawa 3144	デイディエ・マルタン	飛行する少年	サンリオ	1980	
A Nagakawa 3145	古今亭志ん生	志ん生人情ばなし(志ん生文庫)	立風書房	1977	
A Nagakawa 3146	ウィレム・A・グロートゥース	誤訳(三省堂選書)	三省堂	1967	
A Nagakawa 3147	山陰歴史研究会	鳥根県の歴史散歩(全国歴史散歩シリーズ)	山川出版社	1978	
A Nagakawa 3148	山口県社会科教育研究会	山口県の歴史散歩(全国歴史散歩シリーズ)	山川出版社	1980	
A Nagakawa 3149	萩原 朔太郎	萩原朔太郎詩集(旺文社文庫)	旺文社	1974	
A Nagakawa 3150	日本放送協会編	さば・いわし・あじ料理 — カラー版(NHKきょうの料理 ポケットシリーズカラー版)	NHK 出版	1981	
A Nagakawa 3151	山田 善郎	スペイン語の決まり文句(実日新書)	実業之日本社	1981	
A Nagakawa 3152	馬場 あき子	百人一首(平凡社カラー新書)	平凡社	1977	
A Nagakawa 3153	青木 一男	百人一首	評論社	1973	
A Nagakawa 3154	橋口 倫介、金澤 誠	教養人の世界史 中 中世・近世(現代教養文庫)	社会思想社	1985	
A Nagakawa 3155	岩間 徹、山下 正太郎	教養人の世界史 下 近代・現代(現代教養文庫)	社会思想社	1985	
A Nagakawa 3156	古田 紹欽	禪への道	社会思想社	1970	
A Nagakawa 3157	小倉 芳彦、堀 敏一、柳田 節子、三木 亘	教養人の東洋史 上 古代から14世紀迄(現代教養文庫)	社会思想社	1984	
A Nagakawa 3158	田中 正俊、小島 晋治、新島 淳良、三木 亘、石田 保昭	教養人の東洋史 下 15世紀から現代迄(現代教養文庫)	社会思想社	1980	
A Nagakawa 3159	安田 元久編	年表要説日本の歴史	社会思想社	1966	
A Nagakawa 3160	井口 海仙	茶道入門	社会思想社	1979	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3161	マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロ東方見聞録(現代教養文庫)	社会思想社	1982	
A Nagakawa 3162	牧 逸馬	街を陰る死翼(現代教養文庫)	社会思想社	1975	
A Nagakawa 3163	柳本 香美	ヒマラヤの村 — シェルパ族とくらす	社会思想社	1976	
A Nagakawa 3164	ハルミ・ベフ	日本 — 文化人類学的入門(現代教養文庫)	社会思想社	1977	
A Nagakawa 3165	C・H・ハスキンス	大学の起源(現代教養文庫)	社会思想社	1977	
A Nagakawa 3166	野尻 抱影	星と伝説(角川文庫)	角川書店	1957	
A Nagakawa 3167	坂口 安吾	白痴・二流の人(角川文庫)	角川書店	1972	
A Nagakawa 3168	坂口 安吾	道鏡・狂人遺書(角川文庫)	角川書店	1972	
A Nagakawa 3169	坂口 安吾	墮落論(角川文庫)	角川書店	1978	
A Nagakawa 3170	笠 信太郎	ものの見方について(角川文庫)	角川書店	1973	
A Nagakawa 3171	芥川 龍之介	蜘蛛の糸・地獄変(角川文庫)	角川書店	1972	
A Nagakawa 3172	M・ウェーバー	職業としての政治(角川文庫)	角川書店	1959	
A Nagakawa 3173	島津 忠夫	百人一首(角川文庫)	角川書店	1979	
A Nagakawa 3174	司馬 遼太郎	尻啖え孫市(角川文庫)	角川書店	1970	
A Nagakawa 3175	イザヤ・ベンダサン	日本人とユダヤ人(角川文庫)	角川書店	1975	
A Nagakawa 3176	坂口 安吾	散る日本(角川文庫)	角川書店	1973	
A Nagakawa 3177	大宅 壮一編	日本のいちばん長い日(角川文庫)	角川書店	1973	
A Nagakawa 3178	江戸川 乱歩	白髮鬼(角川文庫)	角川書店	1975	
A Nagakawa 3179	アルセニエフ	デルス・ウザーラ(角川文庫)	角川書店	1975	
A Nagakawa 3180	黒田 春海	海峡は河なのに — 私の見た韓国から(角川文庫)	角川書店	1977	
A Nagakawa 3181	ロートレアモン	マルドロールの歌(角川文庫)	角川書店	1980	
A Nagakawa 3182	戸川 猪佐武	小説吉田学校 第1部 保守本流(角川文庫)	角川書店	1981	
A Nagakawa 3183	ポール・ボネ	不思議の国ニッポン vol.3 — 在日フランス人の眼(角川文庫)	角川書店	1983	
A Nagakawa 3184	ポール・ボネ	不思議の国ニッポン vol.6 — 在日フランス人の眼(角川文庫)	角川書店	1983	
A Nagakawa 3185	二葉亭 四迷、尾崎 紅葉	二葉亭四迷・尾崎紅葉集(近代日本文学1)	筑摩書房	1976	
A Nagakawa 3186	幸田 露伴	幸田露伴集(近代日本文学2)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3187	北村 透谷、樋口 一葉	北村透谷・樋口一葉集(近代日本文学3)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3188	泉 鏡花、徳富 蘆花	泉鏡花・徳富蘆花集(近代日本文学4)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3189	森 鷗外	森鷗外集1(近代日本文学5)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3190	森 鷗外	森鷗外集2(近代日本文学6)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3191	國木田 獨歩	國木田獨歩集(近代日本文学7)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3192	島崎 藤村	島崎藤村集1(近代日本文学8)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3193	島崎 藤村	島崎藤村集2(近代日本文学9)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3194	田山 花袋	田山花袋集(近代日本文学10)	筑摩書房	1975	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3195	徳田 秋聲	徳田秋聲集(近代日本文学11)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3196	夏目 漱石	夏目漱石集1(近代日本文学12)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3197	夏目 漱石	夏目漱石集2(近代日本文学13)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3198	夏目 漱石	夏目漱石集3(近代日本文学14)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3199	正宗 白鳥	正宗白鳥集(近代日本文学15)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3200	岩野 泡鳴、近松 秋江	岩野泡鳴・近松秋江集(近代日本文学 16)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3201	永井 荷風	永井荷風集(近代日本文学17)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3202	谷崎 潤一郎	谷崎潤一郎集1(近代日本文学18)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3203	谷崎 潤一郎	谷崎潤一郎集2(近代日本文学19)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3204	武者小路 實篤	武者小路實篤集(近代日本文学20)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3205	志賀 直哉	志賀直哉集(近代日本文学21)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3206	有島 武郎	有島武郎集(近代日本文学22)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3207	芥川 龍之介	芥川龍之介集(近代日本文学23)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3208	菊池 寛、室生 犀 星	菊池寛・室生犀星集(近代日本文学24)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3209	長與 善郎、野上 彌生子	長與善郎・野上彌生子集(近代日本文学 25)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3210	佐藤 春夫	佐藤春夫集(近代日本文学26)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3211	山本 有三	山本有三集(近代日本文学27)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3212	廣津 和郎、宇野 浩二	廣津和郎・宇野浩二集(近代日本文学 28)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3213	川端 康成	川端康成集(近代日本文学30)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3214	小林 秀雄	小林秀雄集(近代日本文学31)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3215	梶井 基次郎、堀 辰雄、中島 敦	梶井基次郎・堀辰雄・中島敦集(近代日 本文学32)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3216	岡本 かの子、林 芙美子、宇野 千代	岡本かの子・林芙美子・宇野千代集(近 代日本文学33)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3217	武田 麟太郎、島木 健作、織田 作之助	武田麟太郎・島木健作・織田作之助集(近 代日本文学34)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3218	尾崎 士郎、坂口 安吾、太宰 治	尾崎士郎・坂口安吾・太宰治集(近代日 本文学35)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3219		萬葉集 上(古典日本文学2)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3220		萬葉集 下(古典日本文学3)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3221		宇治拾遺物語 お伽草子(古典日本文学 17)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3222		太平記(古典日本文学18)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3223		能・狂言名作集(古典日本文学19)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3224		実朝集 西行集 良寛集(古典日本文学 20)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3225		井原西鶴集 下(古典日本文学22)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3226		近松門左衛門集(古典日本文学23)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3227		浄瑠璃名作集(古典日本文学24)	筑摩書房	1975	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3228		歌舞伎名作集(古典日本文学25)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3229		椿説弓張月(古典日本文学26)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3230		松尾芭蕉集 上(古典日本文学29)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3231		松尾芭蕉集 下(古典日本文学30)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3232		與謝蕪村集 小林一茶集(古典日本文学31)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3233		川柳集 狂歌集(古典日本文学32)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3234		本居宣長集(古典日本文学33)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3235		江戸随想集(古典日本文学34)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3236		芸術論集(古典日本文学35)	筑摩書房	1975	
A Nagakawa 3237	ジョン・テレン	トラファルガル海戦	原書房	1980	
A Nagakawa 3238	大内 聡矣	ニースの裏街から	毎日新聞出版	1984	
A Nagakawa 3239	大杉 栄	日本脱出記・獄中記	現代思潮社	1976	
A Nagakawa 3240	梅棹 忠夫	地球時代の人類学	中央公論社	1982	
A Nagakawa 3241	クラヴィホ	チムール帝国紀行	桃源社	1967	
A Nagakawa 3242	大工原 弥太郎	明るいチベット医学 — 病気をだまして生きていく(センチュリープレス)	情報センター出版局	1989	
A Nagakawa 3243	エヴァ・フォレスト	エヴァの日記 スペインの獄舎から	時事通信社	1978	
A Nagakawa 3244		Nippon go (3)	日伯文化協会	1963	書誌情報不明
A Nagakawa 3245	梅原 宗敬	旅行スペイン語会話	開創社	1973	
A Nagakawa 3246	JTB	六カ国語会話	JTB	1979	巻次不明
A Nagakawa 3247	橋田 淳	カナダの旅(エアリアガイド)	昭文社	1987	
A Nagakawa 3248	田尻 陽一	スペインの旅(エアリアガイド)	昭文社	1993	
A Nagakawa 3249	JTB	スペイン・ポルトガル	JTB	1992	副本 3250
A Nagakawa 3250	JTB	スペイン・ポルトガル	JTB	1990	副本 3249
A Nagakawa 3251	JTB	ロンドン	JTB	1992	
A Nagakawa 3252	地球の歩き方編集室	メキシコ 1997～98年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1996	
A Nagakawa 3253	地球の歩き方編集室	パリとフランスのすべて 1992～93年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1991	
A Nagakawa 3254	地球の歩き方編集室	イスタンブールとトルコの大地 1992～93年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1991	
A Nagakawa 3255	地球の歩き方編集室	ギリシアとエーゲ海の島々&キプロス 1997～98年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1996	
A Nagakawa 3256	地球の歩き方編集室	カリブ海2(ジャマイカ) 1996～97年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1996	
A Nagakawa 3257	地球の歩き方編集室	フィレンツェと中世・ルネッサンス都市 1996～97年版(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社	1996	
A Nagakawa 3258	JTB	ヨーロッパ	JTB	1988	副本 3379
A Nagakawa 3259	JTB	ドイツ	JTB	1975	
A Nagakawa 3260		パリ・フランスの旅(ワールド・トラベル・ブック)	ワールドフォトプレス	1984	



放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲ニコレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3261	JTB	アフリカ	JTB	1981	
A Nagakawa 3262	竹村 健一	アフリカ	白陵社	1969	
A Nagakawa 3263		東京都区分地図：東京 23 区・都下全市 町村・都心詳細図 (ニューエスト S1)	昭文社	1990	
A Nagakawa 3264	JTB	インド	JTB	1976	
A Nagakawa 3265	主婦の友社編	若向き評判おかず 100 選	主婦の友社	1975	
A Nagakawa 3266		噂の真相 1993 年 5 月号	噂の真相	1993	
A Nagakawa 3267	小谷 明、栗津 則雄	スペイン巡礼の道 (とんぼの本)	新潮社	1985	
A Nagakawa 3268		最新図説世界史	浜島書店		発行年不明
A Nagakawa 3269	ピーター・ブルック	なにもない空間 (晶文選書)	晶文社	1971	
A Nagakawa 3270	ドメニコ・ラガナ	日本語とわたし	文藝春秋	1975	
A Nagakawa 3271	栗原 貞子	核時代の童話 — 反核詩集	詩集刊行の会	1982	
A Nagakawa 3272	栗原 貞子	未来はここから始まる — ヒロシマ詩集	詩集刊行の会	1979	
A Nagakawa 3273	チャールズ・ダグラス・ラミス	影の学問、窓の学問	晶文社	1982	
A Nagakawa 3274	ローラ・フェルミ	二十世紀の民族移動 2 (亡命の現代史)	みすず書房	1972	
A Nagakawa 3275	ジョルジュ・ベレック	眠る男	晶文社	1970	
A Nagakawa 3276	那谷 敏郎	紀行 モロッコ史 (新潮選書)	新潮社	1984	
A Nagakawa 3277	陳 舜臣	小説マルコ・ポーロ — 中国冒険譚	文藝春秋	1979	
A Nagakawa 3278	エルンスト・ユンガー	砂時計の書	人文書院	1978	
A Nagakawa 3279	ドン・マローニ	外人はつらいよ	国際 PHP 研究所	1976	
A Nagakawa 3280	浜田 青陵	天正遣欧使節記	岩波書店	1931	
A Nagakawa 3281	渡辺 三男	日本人の名まえ — その歴史とさまざまな型	北辰堂	1958	
A Nagakawa 3282	和辻 哲郎	鎖国 — 日本の悲劇 (筑摩叢書)	筑摩書房	1964	
A Nagakawa 3283	叶沢 敏子	スペイン、マドリー、エチエガライ通り十番地	あざさ書房	1982	
A Nagakawa 3284	柳田 国男	新編柳田国男集 第六卷	筑摩書房	1978	
A Nagakawa 3285		ヨーロッパガイドブック	日通航空		書誌情報不明
A Nagakawa 3286		Youroppa zen'ouhen (Europa)	Global	1986	書誌情報不明
A Nagakawa 3287	塩野 七生	海の都の物語 — ヴェネツィア共和国の 一千年	中央公論新社	1980	
A Nagakawa 3288	佐々木 三郎	大武蔵野の野嵐に 昭和二十年振武台の 記録	Matsushima insatsusho (非 売品)	1984	陸軍予科士官学校関係 著作
A Nagakawa 3289	チャールズ・ダグラス・ラミス	内なる外国 — 『菊と刀』 再考	時事通信社	1981	
A Nagakawa 3290	笠井 鎮夫、大岩 勉編	分類スペイン語単語集	大学書林	1969	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3291	水野 恵司	なぜ組織を動かさないのか — 協働する 集団力学	日本能率協会	1977	
A Nagakawa 3292	野田 又夫	ルネサンスの思想家たち(岩波新書)	岩波書店	1963	
A Nagakawa 3293	木俣 修	百人一首のすすめ	愛育出版	1966	
A Nagakawa 3294	堀田 善衛	キューバ紀行	岩波書店	1973	
A Nagakawa 3295	笹本 駿二	ローヌ河歴史紀行 — アルプスから地中海 へ	岩波書店	1980	
A Nagakawa 3296	大野 晋	日本語の起源 新版(岩波新書)	岩波書店	1963	
A Nagakawa 3297	寺田 透	人間喜劇の老嬢たち — バルザック一面	岩波書店	1984	
A Nagakawa 3298	大野 晋	日本語をさかのぼる(岩波新書)	岩波書店	1975	副本 3037, 3038
A Nagakawa 3299	山口 昌男	アフリカの神話的世界(岩波新書)	岩波書店	1971	
A Nagakawa 3300	高階 秀爾	近代絵画史 — ゴヤからモンドリアンまで (上)	中央公論新社	1975	副本 0237
A Nagakawa 3301	川田 順造	マグレブ紀行(中公新書)	中央公論新社	1971	
A Nagakawa 3302	新美 南吉	ごんぎつね(フォア文庫)	岩崎書店	1982	
A Nagakawa 3303	大林 多吉	スペイン語基礎単語と用例	開拓社	1982	
A Nagakawa 3304	高橋 直宏	海外自動車旅行	婦人画報社	1971	
A Nagakawa 3305	板坂 元	日本語の表情(講談社現代新書)	講談社	1978	
A Nagakawa 3306	辻 静雄	ヨーロッパ味の旅	評論社	1966	
A Nagakawa 3307	佐藤 鉄章	物語 中国史 上(河出文庫)	河出書房新社	1981	
A Nagakawa 3308	佐藤 鉄章	物語 中国史 下(河出文庫)	河出書房新社	1981	
A Nagakawa 3309	中上 健次	枯木灘(河出文庫)	河出書房新社	1980	
A Nagakawa 3310	チョーサー	カンタベリー物語(角川文庫)	角川書店	1975	
A Nagakawa 3311	イポリット・テース	近代フランスの起源(上巻) — 旧制時代	角川書店	1963	
A Nagakawa 3312	イポリット・テース	近代フランスの起源(下巻) — 旧制時代	角川書店	1963	
A Nagakawa 3313	ベルトルト・ブレヒ ト	ガリレイの生涯(岩波文庫)	岩波書店	1979	
A Nagakawa 3314	坪内 逍遙	小説神髓(岩波文庫)	岩波書店	1988	
A Nagakawa 3315	レオナルド・ダ・ヴィ ンチ	レオナルド・ダ・ヴィンチの手記 下(岩波 文庫)	岩波書店	1983	
A Nagakawa 3316	ステイーヴンソン	宝島(岩波文庫)	岩波書店	1963	
A Nagakawa 3317	リルケ	マルテの手記(岩波文庫)	岩波書店	1983	
A Nagakawa 3318	三島 由紀夫	純白の夜(角川文庫)	角川書店	1977	
A Nagakawa 3319	夏目 漱石	草枕・二百十日(角川文庫)	角川書店	1977	
A Nagakawa 3320	松本 清張	巨人の磯(新潮文庫)	新潮社	1979	
A Nagakawa 3321	壺井 栄	壺井栄童話集(新潮文庫)	新潮社	1966	
A Nagakawa 3322		同時代ライブラリー 解説目録	岩波書店	1996	
A Nagakawa 3323	ロマン・ロラン	ミケランジェロの生涯(岩波文庫)	岩波書店	1963	
A Nagakawa 3324	土屋 隆夫	傷だらけの街(角川文庫)	角川書店	1978	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3325	江戸川 乱歩	影男(角川文庫)	角川書店	1976	
A Nagakawa 3326	横溝 正史	悪魔の手毬唄(角川文庫)	角川書店	1977	
A Nagakawa 3327	佐藤 謙三	平家物語(下巻)(角川文庫)	角川書店	1975	
A Nagakawa 3328	佐藤 謙三	平家物語(上巻)(角川文庫)	角川書店	1973	
A Nagakawa 3329	柳田 国男	桃太郎の誕生(角川文庫)	角川書店	1970	
A Nagakawa 3330	H・G・ウェルズ	世界文化史概観(上巻)	岩波書店	1940	
A Nagakawa 3331	H・G・ウェルズ	世界文化史概観(下巻)	岩波書店	1940	
A Nagakawa 3332	海音寺 潮五郎	史談と史論(下)(講談社文庫)	講談社	1977	
A Nagakawa 3333	A・デュマ	ダルタニャン物語(第1巻)友を選ばば三銃士	講談社	1975	
A Nagakawa 3334	世阿弥編	花伝書(風姿花伝)(講談社文庫)	講談社	1972	
A Nagakawa 3335	大田黒 元雄	歌劇解説	音楽之友社	1952	
A Nagakawa 3336	久松 潜一、阪倉篤義、林 大監修	講談社国語辞典(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 3337	フルシチョフ	フルシチョフ秘密報告「スターリン批判」(講談社学術文庫)	講談社	1977	
A Nagakawa 3338	夏目 漱石	坊っちゃん 他一編(旺文社文庫)	旺文社	1979	
A Nagakawa 3339	高橋 和巳	現代の青春(旺文社文庫)	旺文社	1973	
A Nagakawa 3340		ホステリングヨーロッパ(交通公社のワールドガイド)	交通公社	1977	副本 3352
A Nagakawa 3341	中尾 佐助	料理の起源	日本放送出版協会	1972	
A Nagakawa 3342	竹内 光江	かほうその食卓 OTTER'S TABLE	竹内光江	1994	
A Nagakawa 3343		日本語面白事典 — 古事記からハナモゲラ語まで、ことばと文章に強くなる(21世紀ブックス)	主婦と生活社	1981	
A Nagakawa 3344	H・M・エンツェン <span style="font-size: small;">スベルガー</span>	政治と犯罪(晶文選書)	晶文社	1971	
A Nagakawa 3345	東恩納 寛惇	琉球の歴史	至文堂	1957	
A Nagakawa 3346	堀田 善衛	審判 下(集英社文庫)	集英社	1980	
A Nagakawa 3347	堀田 善衛	記念碑(集英社文庫)	集英社	1978	
A Nagakawa 3348	田中 克彦	モンゴル 民族と自由(同時代ライブラリー)	岩波書店	1992	
A Nagakawa 3349		ちくま文庫 解説目録	筑摩書房	1989	
A Nagakawa 3350	堀米 庸三	ヨーロッパ歴史紀行	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3351	渡辺 一夫	フランス・ルネサンスの人々	白水社	1964	
A Nagakawa 3352		ホステリングヨーロッパ(交通公社のワールドガイド)	交通公社	1978	副本 3340
A Nagakawa 3353	高橋 正武	新スペイン広文典	白水社	1982	
A Nagakawa 3354	エリアス・カネットイ	マラケシュの声	法政大学出版局	1982	
A Nagakawa 3355	尾辻 克彦	贋金づかい	新潮社	1988	
A Nagakawa 3356	堀田 善衛	ミシェル 城館の人 — 争乱の時代	集英社	1992	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3357	堀田 善衛	ミシェル城館の人―自然 理性 運命	集英社	1992	
A Nagakawa 3358	堀田 善衛	ミシェル 城館の人―精神の祝祭	集英社	1994	
A Nagakawa 3359	角川書店編	日本史探訪(11) キリシタンと鉄砲伝来(角川文庫)	角川書店	1989	
A Nagakawa 3360	川端 康成	雪国(角川文庫)	角川書店	1969	
A Nagakawa 3361	川端 康成	伊豆の踊子(新潮文庫)	新潮社	1968	
A Nagakawa 3362	吉村 昭	海の史劇(新潮文庫)	新潮社	1981	
A Nagakawa 3363	尾崎 士郎	人生劇場 望郷篇(新潮文庫)	新潮社	1979	
A Nagakawa 3364	スピノザ	国家論(岩波文庫)	岩波書店	1951	
A Nagakawa 3365	村岡 伊平治	村岡伊平治自伝(講談社文庫)	講談社	1987	
A Nagakawa 3366	木下 順二	オットーと呼ばれる日本人―他一篇(岩波文庫)	岩波書店	1973	
A Nagakawa 3367	倉橋 由美子	パルタイ(文春文庫)	文藝春秋	1975	
A Nagakawa 3368	開高 健	眼ある花々(中公文庫)	中央公論新社	1975	
A Nagakawa 3369	雄叫編集委員会	軍歌集 雄叫	偕行社	1976	
A Nagakawa 3370	岡田 章雄	バテレンの道	淡交社	1970	
A Nagakawa 3371	岡 照雄	アングス・ウィルソン	研究社出版	1970	
A Nagakawa 3372	吉林 勲三	セリーヌ式電気餅搗器	倒語社	1983	
A Nagakawa 3373	フィリップ・トイン ビー編	回想のスペイン戦争	彩光社	1980	副本 3382
A Nagakawa 3374	ジョイス	世界文学全集(2-13)	河出書房新社	1975	
A Nagakawa 3375	三島 由紀夫	新潮現代文学 32 三島由紀夫 金閣寺・春の雪	新潮社	1979	
A Nagakawa 3376	色川 大吉	ある昭和史 自分史の試み	中央公論社	1975	
A Nagakawa 3377	木村 浩	ロシアの美的世界(新潮選書)	新潮社	1977	
A Nagakawa 3378	増田 義郎	太陽と月の神殿 沈黙の世界史12 新大陸	新潮社	1969	
A Nagakawa 3379	JTB	ヨーロッパ	JTB	1984	副本 3258
A Nagakawa 3380		ヨーロッパ(ワールドガイド)	日本交通公社	1977	
A Nagakawa 3381	新潮 45 編集部編	死ぬための生き方	新潮社	1988	
A Nagakawa 3382	フィリップ・トイン ビー編	回想のスペイン戦争	彩光社	1980	副本 3373
A Nagakawa 3383	納富 則夫	ひとり暮らしのクッキング 自炊が楽しくなる本	学習研究社	1976	
A Nagakawa 3384	松田 毅一	天正少年使節	角川書店	1965	
A Nagakawa 3385	早川 東三	デイリーコンサイス独和辞典	三省堂	1982	
A Nagakawa 3386	檀 一雄	檀流クッキング(中公文庫)	中央公論新社	1975	
A Nagakawa 3387	藤井 貞和	古文の読みかた(岩波ジュニア新書)	岩波書店	1984	
A Nagakawa 3388	前川 貞次郎、会田 雄次、外山 軍治	世界史辞典	数研出版	1969	
A Nagakawa 3389	ジャン・ドゥルルム	年表世界史3(文庫クセジュ)	白水社	1967	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3390	インド・ネパール旅の会	インドをあるく本 ひとり旅全ガイド	文潮出版	1980	
A Nagakawa 3391	司馬 遼太郎、海音寺 潮五郎	日本歴史を点検する	講談社	1978	
A Nagakawa 3392	松本 清張	証明(文春文庫)	文藝春秋	1982	
A Nagakawa 3393	司馬 遼太郎	歴史を考える — 司馬遼太郎対談集(文春文庫)	文藝春秋	1988	
A Nagakawa 3394	講談社編	実用辞典 和英併用(講談社学術文庫)	講談社	1979	
A Nagakawa 3395		新潮文庫 解説目録	新潮社	1985	
A Nagakawa 3396	ドストエフスキー	白痴(上巻)(新潮文庫)	新潮社	1979	
A Nagakawa 3397	野坂 昭如	水虫魂(新潮文庫)	新潮社	1973	
A Nagakawa 3398	野上 彌生子	真知子(新潮文庫)	新潮社	1979	
A Nagakawa 3399	大野 晋	日本語の年輪(新潮文庫)	新潮社	1976	
A Nagakawa 3400	山崎 正和	海の桃山記(文春文庫)	文藝春秋	1978	
A Nagakawa 3401	中上 健次	岬(文春文庫)	文藝春秋	1978	
A Nagakawa 3402	松本 清張	私説・日本合戦譚(文春文庫)	文藝春秋	1981	
A Nagakawa 3403	司馬 遼太郎	日本人を考える 司馬遼太郎対談集(文春文庫)	文藝春秋	1986	
A Nagakawa 3404	島崎 藤村	千曲川のスケッチ(新潮文庫)	新潮社	1974	
A Nagakawa 3405	三島 由紀夫	獣の戯れ(新潮文庫)	新潮社	1974	
A Nagakawa 3406	塩野 七生	イタリアからの手紙	新潮社	1974	
A Nagakawa 3407	松田 毅一	黄金のゴア盛衰記(中公文庫)	中央公論社	1977	
A Nagakawa 3408	三島 由紀夫	文章読本(中公文庫)	中央公論新社	1973	
A Nagakawa 3409	林屋 辰三郎、梅棹忠夫、山崎 正和編	日本史のしくみ — 変革と情報の史観(中公文庫)	中央公論新社	1976	副本 3098
A Nagakawa 3410	ブルクハルト	イタリアルネサンスの文化(下)(中公文庫)	中央公論新社	1974	
A Nagakawa 3411	園部 三郎編	日本の詩歌別巻 日本歌唱集(中公文庫)	中央公論新社	1974	
A Nagakawa 3412	太宰 治	太宰治全集1(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3413	太宰 治	太宰治全集2(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3414	太宰 治	太宰治全集3(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3415	太宰 治	太宰治全集4(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3416	太宰 治	太宰治全集5(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3417	太宰 治	太宰治全集6(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3418	太宰 治	太宰治全集7(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3419	太宰 治	太宰治全集8(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3420	太宰 治	太宰治全集9(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3421	太宰 治	太宰治全集10(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3422	太宰 治	太宰治全集11(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3423	太宰 治	太宰治全集12(筑摩全集類聚)	筑摩書房	1985	

富田 広 樹

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3424	ジェイムズ・ジョイス	ユリシリーズ(2)	集英社	1996	
A Nagakawa 3425	ジェイムズ・ジョイス	ユリシリーズ(3)	集英社	1997	
A Nagakawa 3426	川端 康成	新潮現代文学(1) 川端康成 古都 眠れる美女 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3427	井伏 鱒二	新潮現代文学(2) 井伏鱒二 黒い雨 駅前旅館 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3428	中野 重治	新潮現代文学(3) 中野重治 梨の花 五勺の酒 萩のもんかきや 日暮れてある楽しみ ちりがみ交換	新潮社	1980	
A Nagakawa 3429	野上 彌生子	新潮現代文学(4) 野上彌生子 秀吉と利休 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3430	尾崎 一雄	新潮現代文学(5) 尾崎一雄 まぼろしの記 蜜蜂が降る 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3431	芹沢 光治良	新潮現代文学(6) 芹沢光治良 人間の運命(父と子) 狭き門より	新潮社	1980	
A Nagakawa 3432	宇野 千代	新潮現代文学(7) 宇野千代 おはん 雨の音 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3433	石川 淳	新潮現代文学(8) 石川淳 荒魂 紫苑物語 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3434	石坂 洋次郎	新潮現代文学(9) 石坂洋次郎 青い山脈 あいつと私	新潮社	1979	
A Nagakawa 3435	丹羽 文雄	新潮現代文学(10) 丹羽文雄 魂の試される時	新潮社	1980	
A Nagakawa 3436	舟橋 聖一	新潮現代文学(11) 舟橋聖一 雪夫人絵図 好きな女の胸飾り	新潮社	1981	
A Nagakawa 3437	石川 達三	新潮現代文学(12) 石川達三 青春の蹉跎 幸福の限界 独りきりの世界	新潮社	1978	
A Nagakawa 3438	伊藤 整	新潮現代文学(13) 伊藤整 若い詩人の肖像 火の鳥	新潮社	1981	
A Nagakawa 3439	高見 順	新潮現代文学(14) 高見順 いやな感じ 死の淵より	新潮社	1981	
A Nagakawa 3440	中山 義秀	新潮現代文学(15) 中山義秀 芭蕉庵桃青 テニヤンの末日 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3441	永井 龍男	新潮現代文学(16) 永井龍男 石版東京 図絵 青梅雨 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3442	山本 周五郎	新潮現代文学(17) 山本周五郎 青べか物語 さぶ	新潮社	1979	
A Nagakawa 3443	佐多 稲子	新潮現代文学(18) 佐多稲子 体の中を風が吹く 時に佇つ 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3444	円地 文子	新潮現代文学(19) 円地文子 彩霧 遊魂 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3445	太宰 治	新潮現代文学(20) 太宰治 斜陽 人間失格 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3446	檀 一雄	新潮現代文学(21) 檀一雄 火宅の人	新潮社	1979	
A Nagakawa 3447	田宮 虎彦	新潮現代文学(22) 田宮虎彦 足摺岬 沖繩の手記から 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3448	大岡 昇平	新潮現代文学(23) 大岡昇平 野火 事件	新潮社	1978	
A Nagakawa 3449	武田 泰淳	新潮現代文学(24) 武田泰淳 快樂	新潮社	1981	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3450	椎名 麟三	新潮現代文学(25) 椎名麟三 永遠なる序章 懲役人の告発 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3451	梅崎 春生	新潮現代文学(26) 梅崎春生 桜島 幻化	新潮社	1981	
A Nagakawa 3452	野間 宏	新潮現代文学(27) 野間宏 真空地帯 暗い絵 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3453	井上 靖	新潮現代文学(28) 井上靖 天平の甍 しろばんば 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3454	堀田 善衛	新潮現代文学(29) 堀田善衛 広場の孤独ゴヤ(黒い絵について) 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3455	中村 真一郎	新潮現代文学(30) 中村真一郎 恋の泉 四季	新潮社	1980	
A Nagakawa 3456	福永 武彦	新潮現代文学(31) 福永武彦 忘却の河海市	新潮社	1980	
A Nagakawa 3457	幸田 文	新潮現代文学(34) 幸田文 流れる 闘 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3458	島尾 敏雄	新潮現代文学(36) 島尾敏雄 死の棘 出発は遂に訪れず	新潮社	1979	
A Nagakawa 3459	小島 信夫	新潮現代文学 37 小島信夫 島抱擁家族 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3460	安岡 章太郎	新潮現代文学(38) 安岡章太郎 海辺の光景 花祭 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3461	遠藤 周作	新潮現代文学(41) 遠藤周作 沈黙 イエスの生涯 他	新潮社	1978	
A Nagakawa 3462	吉行 淳之介	新潮現代文学(42) 吉行淳之介 砂の上の植物群 夕暮まで 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3463	住井 すゑ	新潮現代文学(43) 住井すゑ 橋のない川(第一部) 夜あけ朝あけ	新潮社	1979	
A Nagakawa 3464	新田 次郎	新潮現代文学(44) 新田次郎 八甲田山 死の彷徨 アラスカ物語	新潮社	1979	
A Nagakawa 3465	水上 勉	新潮現代文学(45) 水上勉 雁の寺 金閣 炎上	新潮社	1980	
A Nagakawa 3466	司馬 遼太郎	新潮現代文学(46) 司馬遼太郎 燃えよ剣 奇妙さ	新潮社	1979	
A Nagakawa 3467	深沢 七郎	新潮現代文学(47) 深沢七郎 檜山節考 笛吹川 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3468	井上 光晴	新潮現代文学(48) 井上光晴 心優しき 叛逆者たち	新潮社	1981	
A Nagakawa 3469	北 杜夫	新潮現代文学(49) 北杜夫 幽霊 さびしい王様	新潮社	1978	
A Nagakawa 3470	山崎 豊子	新潮現代文学(50) 山崎豊子 白い巨塔	新潮社	1980	
A Nagakawa 3471	有吉 佐和子	新潮現代文学(51) 有吉佐和子 華岡青洲の妻 恍惚の人 江口の里 ともしび 他	新潮社	1978	
A Nagakawa 3472	石原 慎太郎	新潮現代文学(53) 石原慎太郎 化石の森 太陽の季節	新潮社	1981	
A Nagakawa 3473	開高 健	新潮現代文学(54) 開高健 日本三文オペラ 夏の闇 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3474	三浦 哲郎	新潮現代文学(57) 三浦哲郎 海の道 忍ぶ川 初夜 妻の橋 おらんだ帽子	新潮社	1980	
A Nagakawa 3475	山口 瞳	新潮現代文学(58) 山口瞳 江分利満氏の優雅な生活 人殺し	新潮社	1980	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3476	瀬戸内 晴美	新潮現代文学(59) 瀬戸内晴美 遠い声 比叡 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3477	河野 多恵子	新潮現代文学(60) 河野多恵子 一年の牧 歌 美少女	新潮社	1980	
A Nagakawa 3478	立原 正秋	新潮現代文学(61) 立原正秋 冬のかた みに 帰路 薪能 剣ヶ崎	新潮社	1980	
A Nagakawa 3479	森 茉莉	新潮現代文学(62) 森茉莉 甘い蜜の部 屋 恋人たちの森	新潮社	1981	
A Nagakawa 3480	丸谷 才一	新潮現代文学(63) 丸谷才一 笹まくら 横しぐれ 年の残り 思想と無思想の間	新潮社	1979	
A Nagakawa 3481	辻 邦生	新潮現代文学(64) 辻邦生 回廊にて 嵯峨野明月記	新潮社	1979	
A Nagakawa 3482	小川 国夫	新潮現代文学(65) 小川国夫 青銅時代 アポロンの島 他	新潮社	1980	
A Nagakawa 3483	星 新一	新潮現代文学(67) 星新一 ボッコちゃん どこかの事件 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3484	田辺 聖子	新潮現代文学(68) 田辺聖子 感傷旅 行 休暇は終わった	新潮社	1979	
A Nagakawa 3485	倉橋 由美子	新潮現代文学(69) 倉橋由美子 聖少 女 夢の浮橋 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3486	高橋 和巳	新潮現代文学(70) 高橋和巳 我が心は石 にあらず 散華 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3487	柴田 翔	新潮現代文学(71) 柴田翔 されどわれ らが日々 鳥の影 他	新潮社	1979	
A Nagakawa 3488	野坂 昭如	新潮現代文学(73) 野坂昭如 エロ事師 たち 火垂るの墓 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3489	田久保 英夫	新潮現代文学(75) 田久保英夫 花間 深 い河 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3490	加賀 乙彦	新潮現代文学(76) 加賀乙彦 フランド ルの冬 夢見草	新潮社	1980	
A Nagakawa 3491	井上 ひさし	新潮現代文学(79) 井上ひさし 新釈遠 野物語 藪原検校	新潮社	1981	
A Nagakawa 3492	古井 由吉	新潮現代文学(80) 古井 由吉 聖妻隠 他	新潮社	1981	
A Nagakawa 3493	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第3巻 詩 II	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3494	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第4巻 詩 III	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3495	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第5巻 詩 IV	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3496	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第6巻 詩 V	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3497	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第7巻 童話 I	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3498	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第8巻 童話 II	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3499	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第9巻 童話 III	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3500	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第12巻 下 雑纂 III	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3501	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第13巻 書簡 校異	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3502	宮沢 賢治	校本宮沢賢治全集 第14巻 補遺・補説・ 年譜・資料	筑摩書房	1984	
A Nagakawa 3503	司馬 遼太郎	胡蝶の夢 1	新潮社	1979	
A Nagakawa 3504	司馬 遼太郎	胡蝶の夢 2	新潮社	1979	



放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3505	司馬 遼太郎	胡蝶の夢 3	新潮社	1979	
A Nagakawa 3506	司馬 遼太郎	胡蝶の夢 4	新潮社	1979	
A Nagakawa 3507		新潮 2000年1月号(新年特別号)	新潮社	2000	
A Nagakawa 3508		新潮 2000年5月号	新潮社	2000	
A Nagakawa 3509		新潮 1999年4月号	新潮社	1999	
A Nagakawa 3510		新潮 1999年12月号	新潮社	1999	
A Nagakawa 3511	司馬 遼太郎	新選組血風録	中央公論新社	1963	
A Nagakawa 3512	多田 道太郎	遊びと日本人	筑摩書房	1978	
A Nagakawa 3513		太宰治研究 1 その文学	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3514		太宰治研究 2 その回想	筑摩書房	1983	
A Nagakawa 3515		芥川龍之介全集 第4巻	筑摩書房	1973	
A Nagakawa 3516	飯島 耕一	上野をさまよって奥羽を透視する	集英社	1980	
A Nagakawa 3517	谷川 俊太郎	日々の地図	集英社	1983	
A Nagakawa 3518	丸谷 オー	横しぐれ	講談社	1975	
A Nagakawa 3519	大野 晋	日本語の世界(朝日選書)	朝日新聞	1978	
A Nagakawa 3520	アントニーナ・ロドリゴ	ロルカ・ダリ — 裏切られた友情	六興出版	1986	
A Nagakawa 3521	ジョン・ル・カレ	スマイリーと仲間たち	早川書房	1981	
A Nagakawa 3523	松田 好夫	万葉集年表	おうふう	1971	
A Nagakawa 3524	J・ソペーニャ	スペイン—フランコの四〇年(講談社現代新書)	講談社	1977	副本 2987
A Nagakawa 3525	ジェイムズ・ジョル	ヨーロッパ100年史(1)	みすず書房	1975	
A Nagakawa 3526	ジェイムズ・ジョル	ヨーロッパ100年史(2)	みすず書房	1976	
A Nagakawa 3527	高木 昭良	浄土三部経の意識と解説	永田文昌堂	1974	
A Nagakawa 3528		講談社現代新書 解説目録	講談社	1993	
A Nagakawa 3529	川口 澄子	海沿いの道にて	思潮社	1986	
A Nagakawa 3530	径書房編集部編	『ちびくろサンボ』絶版を考える	径書房	1991	
A Nagakawa 3531	橋本 一明	モーツァルトの葬儀	母岩社	1971	
A Nagakawa 3532	猪野 謙二ほか編	高等学校用 現代文 学習指導の研究	筑摩書房	1985	副本 3548, 3549
A Nagakawa 3533	杉田 房子	ヨーロッパ民宿の旅	三修社	1976	
A Nagakawa 3534	山本 克彦	ヨーロッパ鉄道の旅	白陵社	1969	
A Nagakawa 3535	アンドレ・ゴルツ	エコロジスト宣言	技術と人間	1980	
A Nagakawa 3536	イアン・ギブソン	ロルカ・スペインの死(晶文選書)	晶文社	1981	
A Nagakawa 3537	飯島 耕一	宮古	青土社	1979	
A Nagakawa 3538	梅津 濟美	素人の立場 — 文明を問い直す	八潮出版社	1979	
A Nagakawa 3539	Matsueda Hashimoto	Matsu ga eda	Eiyuusha	1984	書誌情報不明
A Nagakawa 3540		'87 地理資料	東京法令出版社	1987	

富田 広 樹

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3541	高木 きよ子	桜花抄	短歌新聞社	1984	
A Nagakawa 3542	土居 健郎	「甘え」の構造	弘文堂	1976	
A Nagakawa 3543	ロレンソ・ペレス	ベアト・ルイス・ソテロ伝 慶長遣欧使節のいきさつ	東海大学出版会	1968	
A Nagakawa 3544		ソ連・東欧(ワールドガイド)	日本交通公社	1974	
A Nagakawa 3545	三宅 鴻	色彩語彙と言語普遍性-承前-(法政大学文学部紀要 26 抜刷)	法政大学文学部	1980	
A Nagakawa 3546	塩野 七生	海の都の物語 続 — ヴェネツィア共和国の一千年	中央公論新社	1981	
A Nagakawa 3547	ルドルフ・シュタイナー	シュタイナー選集 第1巻 神智学	イザラ書房	1990	
A Nagakawa 3548	猪野 謙二ほか編	高等学校用 現代文 学習指導の研究	筑摩書房	1985	副本 3532, 3549
A Nagakawa 3549	猪野 謙二ほか編	高等学校用 現代文 学習指導の研究	筑摩書房	1985	副本 3532, 3548
A Nagakawa 3550		新潮 1992年7月号	新潮社	1992	
A Nagakawa 3551		新潮 1997年1月号	新潮社	1997	
A Nagakawa 3552		新潮 1999年5月号	新潮社	1999	
A Nagakawa 3553		新潮 1999年9月号	新潮社	1999	
A Nagakawa 3554		新潮 2000年2月号	新潮社	2000	
A Nagakawa 3555		新潮 1992年4月臨時増刊号	新潮社	1992	
A Nagakawa 3556		新潮 1989年2月臨時増刊号	新潮社	1989	
A Nagakawa 3557		自然読本 星	河出書房新社	1981	
A Nagakawa 3558	尾崎 秀樹ほか編	新潮日本人名辞典	新潮社	1991	
A Nagakawa 3559	ルドルフ・シュタイナー	ルドルフ・シュタイナー選集 第11巻 現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心	イザラ書房	1991	
A Nagakawa 3560	大岡 昇平	レイテ戦記	中央公論社	1971	
A Nagakawa 3561	日本聖書協会	新約聖書 共同訳	日本聖書協会	1979	
A Nagakawa 3562	笠井 鎮夫	実用スペイン語会話	大学書林	1987	
A Nagakawa 3563	土屋 道雄	漢字実力テスト	池田書店(新宿区)	1987	
A Nagakawa 3564	文車の会	本の旅 歴史の旅	八木書店	1983	
A Nagakawa 3565	沙廷 健三	沙廷健三詩集	韻律社	1984	
A Nagakawa 3566		別冊文藝春秋 1985年10月号	文藝春秋	1985	
A Nagakawa 3567		文藝春秋 1987年9月号	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 3568		文藝春秋 1987年11月号	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 3569		文藝春秋 1988年1月号	文藝春秋	1988	
A Nagakawa 3570		文藝春秋 1989年1月号	文藝春秋	1989	
A Nagakawa 3571		別冊文藝春秋 1989年夏号	文藝春秋	1989	
A Nagakawa 3572		文藝春秋 1993年10月号	文藝春秋	1993	
A Nagakawa 3573		文藝春秋 1994年4月号	文藝春秋	1994	

放浪の王子の図書館  
—セビーリヤ大学図書館所蔵、永川玲ニコレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(編者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3574		文藝春秋 1994 年 8 月号	文藝春秋	1994	
A Nagakawa 3575		文藝春秋 1996 年 8 月号	文藝春秋	1996	
A Nagakawa 3577		文藝春秋 1996 年 10 月号	文藝春秋	1996	
A Nagakawa 3578		文藝春秋 1998 年 1 月号	文藝春秋	1998	
A Nagakawa 3579		文藝春秋 1998 年 2 月号	文藝春秋	1998	
A Nagakawa 3580	ジョイス	ユリシリーズ 2 世界文学全集 (2 - 14)	河出書房新社	1980	
A Nagakawa 3581	尾崎 義	フィンランド語四週間	大学書林	1969	
A Nagakawa 3582	小島 千加子	虹のかけ橋	沖積舎	1982	
A Nagakawa 3583	M. Işin-E. Günur	トルコ料理	Galeri minyatur	1980	
A Nagakawa 3584	片山 通夫	セピア色の世界 — 東欧の胎動 1990 ~ 1995	リトルガリヴァー社	1996	
A Nagakawa 3585	吉村 昭	新潮現代文学 (66) 吉村昭 戦艦武蔵 冬の鷹 星への旅	新潮社	1980	
A Nagakawa 3586	ハインリヒ・マン	アンリ四世の青春	晶文社	1974	
A Nagakawa 3587	国際交流基金	海外の日本語教育の現状 海外日本語教育機関・1990 年	大蔵省印刷局	1992	
A Nagakawa 3588	曾野 綾子	新潮現代文学 (52) 曾根綾子 木枯しの庭 わが恋の墓標 落葉の声 無為 エトラルカ岬	新潮社	1979	
A Nagakawa 3589		文藝春秋 1987 年 10 月号	文藝春秋	1987	
A Nagakawa 3590	オルハン・バイラク	トルコそのパノラマ	Galeri minyatur	1984	
A Nagakawa 3591	J・R・グリーン	イギリス国民の歴史 — 「百年戦争」の終りから「エリザベス朝」まで	未来社	1966	
A Nagakawa 3592	永積 安明、上横手 雅敬、武田 恒夫編	平家物語 (図説 日本の古典)	集英社	1988	
A Nagakawa 3593	田中 啓爾	最新高等地図	日本書院	1965	
A Nagakawa 3594	海野 浄雄	康楽寺 その歴史と機能	白鳥山報恩院 康楽寺	1969	
A Nagakawa 3595	エマニュエル・ル・ロワ・ラデュリ	モンタイユ — ビレネーの村 1294 ~ 1324 <上> (刀水歴史全書)	刀水書房	1990	
A Nagakawa 3596	エマニュエル・ル・ロワ・ラデュリ	モンタイユ — ビレネーの村 1294 ~ 1324 <下> (刀水歴史全書)	刀水書房	1991	
A Nagakawa 3597		日本語国際センター紀要 第 2 号	国際交流基金 日本語国際センター	1992	
A Nagakawa 3598	堺屋 太一	知価革命 — 工業社会が終わる知価社会が始まる	PHP 研究所	1985	
A Nagakawa 3599	遠山 茂樹	自由民権と現代	筑摩書房	1985	
A Nagakawa 3600	渡辺一夫	世間噺・戦国の公妃 — ジャンヌ・ダラブレの生涯	筑摩書房	1973	
A Nagakawa 3601	松田 毅一	日葡交渉史	教文館	1963	
A Nagakawa 3602	清水 徹	都市の解剖学 — 都市を歩き、都市を読む	ポラ文化研究所	1981	
A Nagakawa 3603	栗原 貞子	核時代に生きる — ヒロシマ・死の中の生	三一書房	1982	

富田 広 樹

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa 3604	東芝	東芝パーソナルワープロ操作説明書	東芝	1988	
A Nagakawa 3605	石川 達三	青春の蹉跎	新潮社	1968	
A Nagakawa 3606	ベネデット・クロー チェ	イタリアとスペインー ルネサンスにおけ る文化史的考察	恒星社厚生閣	1972	
A Nagakawa 3607	A・ショーペンハウ エル	意志と表象としての世界 (II)	理想社	1971	
A Nagakawa 3608	日本貿易振興機構	セビリア万国博覧会日本館基本計画書	日本貿易振興 機構	1990	
A Nagakawa 3609	エリザベート・窪川、 窪川 英水	フランス会話重要表現 600	大修館書店	1976	
A Nagakawa 3610	小林 よしのり	おぼっちゃまくん 9 (てんとう虫コミックス)	小学館	1989	
A Nagakawa 3611	旺文社	標準ことわざ慣用句辞典	旺文社	1989	
A Nagakawa 3612	法政大学スペイン 現代史研究会	スペイン現代史 9号	法政大学スベ イン現代史研 究会	1994	
A Nagakawa 3613	伊藤 義教	古代バルシアー 碑文と文学	岩波書店	1974	
A Nagakawa 3614	上村 占魚	吟行歳時記	紅書房	1994	
A Nagakawa 3615	塩野 七生	ルネサンスの女たち	中央公論社	1969	
A Nagakawa 3616	長塚 隆二	実用フランス旅行会話 16日間	駿河台出版社	1975	
A Nagakawa 3617	村手 義治	250語でできるやさしいロシア会話	白水社	1989	
A Nagakawa 3618	ラテン・アメリカ協 会	ラテン・アメリカの歴史	中央公論新社	1964	
A Nagakawa 3619	渡辺 一夫	戦国明暗二人妃	中央公論社	1972	
A Nagakawa 3620	塩野 七生	神の代理人	中央公論社	1972	
A Nagakawa 3621	織田 武雄	古地図の世界	講談社	1981	
A Nagakawa 3622	大江 健三郎	みずから我が涙をぬぐいたまう日	講談社	1972	
A Nagakawa 3623	北 杜夫	白きたおやかな峰 (新潮文庫)	新潮社	1986	
A Nagakawa 3624	水野 潤一	ノートラブル海外旅行	白馬出版	1976	
A Nagakawa 3625	H・ルフエーヴル	太陽と十字架ーピレネー山脈	未来社	1979	
A Nagakawa 3626	倉塚 暉子	巫女の文化 (平凡社選書)	平凡社	1984	
A Nagakawa 3627	西尾 実、岩淵 悦 太郎、水谷 静雄編	岩波国語辞典 第三版	岩波書店	1973	
A Nagakawa 3628	コロンブスほか	航海の記録 (大航海時代叢書)	岩波書店	1965	
A Nagakawa 3629	橋本 武	解説百人一首	日栄社	1976	
A Nagakawa Fol.01		地理統計要覧 1971-72	二宮書店	1972	
A Nagakawa Fol.02		ドイツ語講座 (1988年4月)	日本放送出版 協会	1988	
A Nagakawa Fol.03	JTB	南ヨーロッパ	JTB	1968	
A Nagakawa Fol.04		ドイツ語講座 (1982年4月)	日本放送出版 協会	1982	
A Nagakawa Fol.05	JTB	ギリシア・トルコ・エジプト自遊自在	JTB		刊行年不明
A Nagakawa Fol.06	デイエゴ・パチエー コ	大村純忠 キリシタン大名	二十六聖人記 念館	1974	

放浪の王子の図書館  
—セビーリャ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa Fol.07		大英博物館見学記念ガイド	British Museum Publications	1992	
A Nagakawa Fol.08	法政大学スペイン現代史学会	スペイン現代史 8号	法政大学スペイン現代史研究会	1992	
A Nagakawa Fol.09		世界史地図	吉川弘文館	1984	
A Nagakawa Fol.10	地球の歩き方編集室	イングランド中央部(地球の歩き方)	ダイヤモンド・ビッグ社		刊行年不明
A Nagakawa Fol.11	日本HR協会編	自己啓発 107号	近代経営社	1983	
A Nagakawa Fol.12	日本HR協会編	自己啓発 109号	近代経営社	1984	
A Nagakawa Fol.13	日本HR協会編	自己啓発 113号	近代経営社	1984	
A Nagakawa Fol.14	日本HR協会編	自己啓発 116号	近代経営社	1985	
A Nagakawa Fol.15	日本HR協会編	自己啓発 118号	近代経営社	1985	
A Nagakawa Fol.16	日本HR協会編	自己啓発 119号	近代経営社	1985	
A Nagakawa Fol.17	プロスペル・メリメ	カルメン(岩波文庫)	岩波書店	1974	
A Nagakawa Fol.18		ダイジェスト・バイブル(新改訳)	日本聖書刊行会	1994	副本 Fol.19, Fol. 20
A Nagakawa Fol.19		ダイジェスト・バイブル(新改訳)	日本聖書刊行会	1994	副本 Fol.18, Fol. 20
A Nagakawa Fol.20		ダイジェスト・バイブル(新改訳)	日本聖書刊行会	1994	副本 Fol.18, Fol. 19
A Nagakawa Fol.21		ミモザ通信 1号	ミモザ社	1993	
A Nagakawa Fol.22	石森 延男	しょうがく かきかた 二ねん	光村図書出版	1990	
A Nagakawa Fol.24		スピード料理(読売カラー百科)	読売新聞社	1982	
A Nagakawa Fol.25	宇沢 弘文	新しい社会	東京書籍	1992	学年不明
A Nagakawa Fol.26	国語教育研究会編	新しい国語の文法	北大路書房		刊行年不明
A Nagakawa Fol.27	斉藤 健次郎	わたしたちの家庭科	開隆堂出版	1992	学年不明
A Nagakawa Fol.28		小学生の音楽 5	教育芸術社	1990	
A Nagakawa Fol.29		中学生の音楽 1	教育芸術社	1993	
A Nagakawa Fol.30		中学保健体育	学研	1993	
A Nagakawa Fol.31	桜井 晴美	自然な日本語 — 中級用会話教材	さかまち企画	1989	
A Nagakawa Fol.32		NHKそろばん教室 10-12	NHK サービスセンター	1976	
A Nagakawa Fol.33		草思社図書目録 1989-9	草思社	1989	
A Nagakawa Fol.34	オーウェル会	オーウェルへの手紙 2	オーウェル会	1983	
A Nagakawa Fol.35	砂川 裕一、砂川 有里子	ラジオ番組「朝日新聞の声」を聴く — 日本語で現代日本を考える(教師用)	くろしお出版	1991	
A Nagakawa Fol.36	大阪外国語大学留学生別科編	文型練習問題	大阪外国語大学留学生別科	1983	
A Nagakawa Fol.37	増田 義郎	大航海時代の構図(亜細亜大学国際関係紀要7号抜刷)	亜細亜大学国際関係学会	1998	
A Nagakawa Fol.38		核戦争の危機を訴える文学者の声明 署名者名簿		1984	

富田 広 樹

請求記号	著者(编者)	タイトル	発行所	発行年	備考
A Nagakawa Fol.39	三宅 鴻	色彩語彙と言語普遍性(法政大学文学部紀要 25 抜刷)	法政大学文学部	1979	
A Nagakawa Fol.40	増田 義郎	ポルトガルとアジア(1)(亜細亜大学国際関係紀要 8 巻抜刷)	亜細亜大学国際関係研究所	1999	
A Nagakawa Fol.41	増田 義郎	イギリス小説の成立まで, 続. 旅行文学の役割(和洋女子大学英文学会誌 33 号抜刷)	和洋女子大学英文学会	1999	
A Nagakawa Fol.42		Akasha (2605 号)	東京通信	1999	書誌情報不明
A Nagakawa Fol.43	結城 了悟	有馬セナリヨはここにあった	日本二十六聖人記念館	1991	
A Nagakawa Fol.44		宇宙風(126 号)	宇宙風同人	1975	
A Nagakawa Fol.45	英語英文學講座編輯部編	英・米・文藝年表(英語英文學講座)	英語英文學刊行會	1934	
A Nagakawa Fol.46		名簿(地中海学会)	地中海学会	1991	
A Nagakawa Fol.47		Cuatro dias de Federico Garcia Lorca	東京外国語大学	1986	副本 Fol.48, Fol.49, Fol.50, Fol.51
A Nagakawa Fol.48		Cuatro dias de Federico Garcia Lorca	東京外国語大学	1986	副本 Fol.47, Fol.49, Fol.50, Fol.51
A Nagakawa Fol.49		Cuatro dias de Federico Garcia Lorca	東京外国語大学	1986	副本 Fol.47, Fol.48, Fol.50, Fol.51
A Nagakawa Fol.50		Cuatro dias de Federico Garcia Lorca	東京外国語大学	1986	副本 Fol.47, Fol.48, Fol.49, Fol.51
A Nagakawa Fol.51		Cuatro dias de Federico Garcia Lorca	東京外国語大学	1986	副本 Fol.47, Fol.48, Fol.49, Fol.50,